

郡山市ふれあい科学館年報

—— 平成23年度版 ——



開館10周年記念セレモニー(宇宙劇場)



開館10周年記念セレモニー(展望ロビー)



はやぶさ帰還カプセル特別展示
(多目的研修室)



ドラえものの科学みらい展(市民ふれあいプラザ)



サイエンススタジオ(びっくり実験ラボ)



目 次

はじめに

Ⅰ 施設のあらまし

- 1 設置目的 1
- 2 運営方針 2
- 3 施設概要 3
- 4 組織概要 4
- 5 沿 革 5

Ⅱ 平成23年度事業活動実績

- 1 開館10周年記念事業 18
- 2 市民鑑賞型事業
 - (1) 宇宙劇場番組投映 26
 - (2) 音楽コンサート 31
 - (3) 鑑賞型企画展 32
- 3 市民参加型事業
 - (1) 科学普及 33
 - (2) 講演会等 40
 - (3) 作品募集 45
 - (4) 参加型企画展 48
 - (5) クラブ活動 51
- 4 その他事業 55
- 5 ボランティア関係事業 61

Ⅲ 平成23年度広報・サービス活動

- 1 広報PR活動
 - (1) 広報戦略活動 66
 - (2) 広報誌・雑誌ほか 66
- 2 営業活動 67

Ⅳ 平成24年度事業計画

- 1 市民鑑賞型事業 68
- 2 市民参加型事業 71
- 3 その他の事業 78
- 4 ボランティア関係事業 80

Ⅴ 予算・決算

- 1 平成23年度決算 82
- 2 平成24年度予算 83

Ⅵ 施設利用状況

- 1 月別入館者 84
- 2 施設別入館者 85
- 3 宇宙劇場区分別入館者 89
- 4 常設展示区分別入館者 90

Ⅶ その他

- 1 条例・規則 94
- 2 利用案内 101
- 3 スペースパーク
ボランティアの会会則 102

はじめに

当科学館は、東日本大震災発生後しばらくの間休館しておりましたが、平成23年4月29日に営業を再開することができました。

震災と原子力発電所の事故による放射能の問題等の影響がありましたが、平成23年度は有料入場者数が145,759人（前年度：145,898人）と、震災のため約1か月間休館したにもかかわらず、前年度とほぼ同様な結果を残すことができました。

これは、当科学館が平成23年度に開館10周年の節目を迎える年であったことから、「はやぶさがやってきた！～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」、「科学の祭典 in こおりやま」、「鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち～」、「ドラえもんの科学みらい展」など様々な記念イベントを実施し、魅力ある事業を展開できたためではないかと考えております。

7月の「はやぶさがやってきた！～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」では、7年半の歳月をかけ宇宙を旅してきた小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを一目見ようと、市内外から多くの方々にお越しいただきました。

また、10月1日・2日の開館10周年を迎えた記念の日には、入館料を無料にし「科学の祭典 in こおりやま」を当科学館がある「ビッグアイ」全体で実施し、盛況に終えることができました。

さらには、同月に実施した「鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち～」、12月・1月に実施した「ドラえもんの科学みらい展」では、小さいお子様づれのご家族が多く見うけられ、みなさまの嬉々とした表情から、十分に満足いただけたように思いました。

そのほか、宇宙劇場夏休み特別番組「Bugs！～昆虫たちのふしぎな物語～」の投映では、来場したお子様に昆虫のカードを配布するとともに、ビッグアイの商業スペース“モルティ”との連携により実施した「スタンプラリー」では、特別に作製した“シール”や“缶バッジ”をお客様にプレゼントしました。

また、昨年度に引き続き、福島大学と連携した科学ゼミナール「おもしろ科学びっくり箱」、新潟大学工学部と連携し最新の科学や簡単な科学実験を行う「科学技術へのいざない」等を行い好評を得ました。

一方、当科学館の自主運営組織スペースパークボランティアの会（S.P.V）では、震災のため避難を余儀なくされた会員の方もおられました。避難所などへの出張活動など、会員一人一人が精力的にとりくみ、あらためて一層の活躍を目指したところです。

平成24年度は、5月・6月には「金環日食」、「金星太陽面通過」という世紀の天文ショーにあわせ駅前で観望会を実施するほか、夏休みには美しい海を舞台にした魚たちの冒険物語がくりひろげられるドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」、冬休みには、世界各国の作家が制作したからくり人形を展示する「からくり人形の世界展」など多種多様な事業を開催します。

これら事業の実施により科学文化の普及、発信はもとより、郡山駅前周辺の活性化が十分期待できるものと思っております。

最後に、このたび発行した平成23年度の事業実績及び平成24年度の事業計画等をまとめた本年報（郡山市ふれあい科学館年報－平成23年度版－）により、当科学館の事業活動等に対し、ご理解を深めていただければ幸いです。

郡山市ふれあい科学館
館長 遠藤 育夫

I 施設のあらまし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている21世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

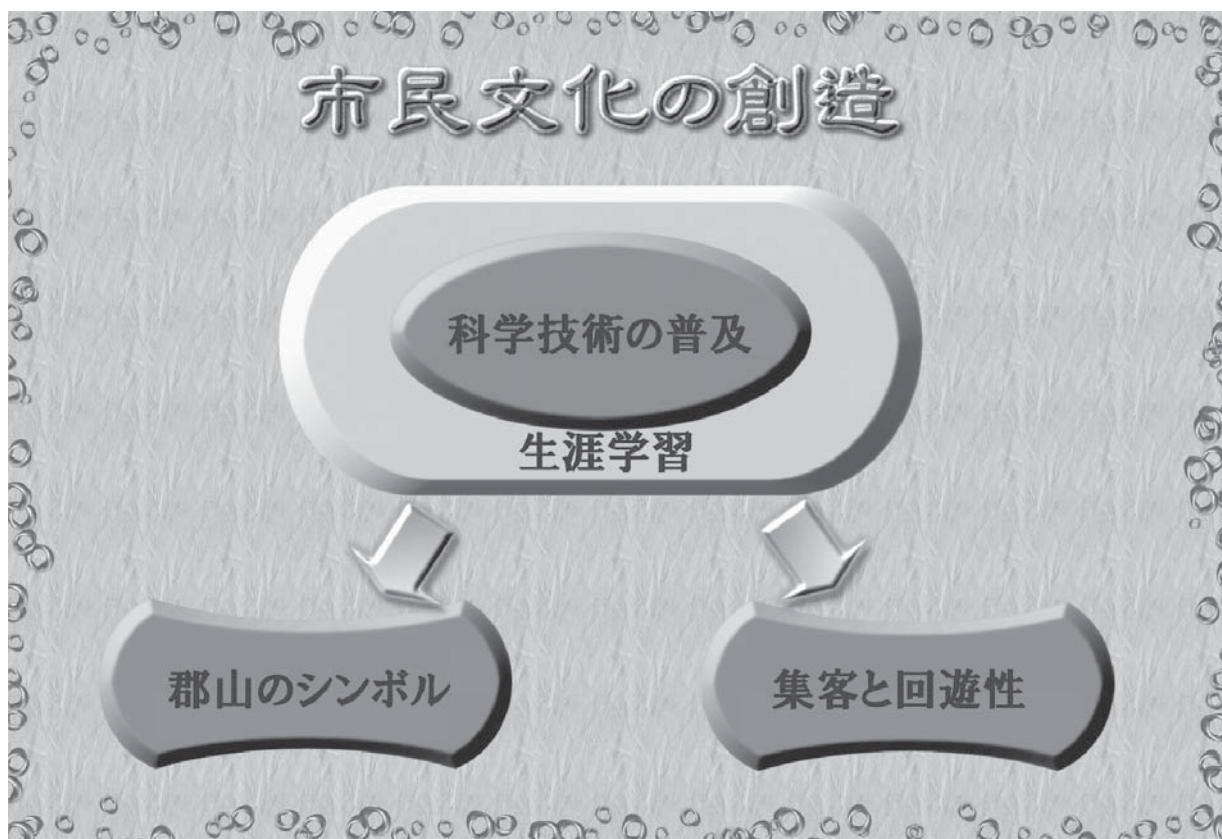
近年の子ども達の理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローイング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目11番1号
 (ビッグアイ20～24階)
 構造：地下1階、地上24階、鉄骨造
 ※ビル全体の構造(地上高133m)
 面積：4,337.37㎡(内専用部分3,459㎡)

宇宙劇場 — 23・24F —

劇場、ホワイエ

○規模

直径23m(傾斜型)、座席数234席

○機器

スーパーヘリオス、デジキャンバス
 アストロビジョン70L²ほか

○展示品

アースタッチング

展望ロビー — 22F —

メインエントランス、カフェ・ショップほか

○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ(運転シミュレーター)
 シンボルオブジェ「プライマル」
 マップオンプラネットほか

展示ゾーン — 21F —

○展示品

— プロローグ —

プロローグ「惑星」、コペルニクスの考えた宇宙、ハーシェルが考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか

— スペースフロンティア —

国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンのほか

— クエスト・オブ・ザ・ユニバース —

すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート
 進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか

— アースウォッチング —

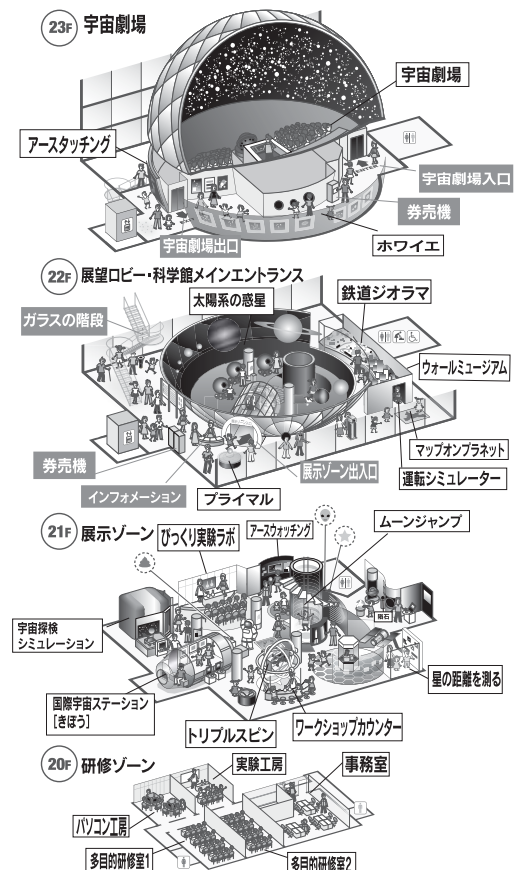
アースウォッチングほか

研修ゾーン — 20F —

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

郡山市ふれあい科学館 フロア案内

スペースパークフロアマップ



総事業費

4,331,480,716円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

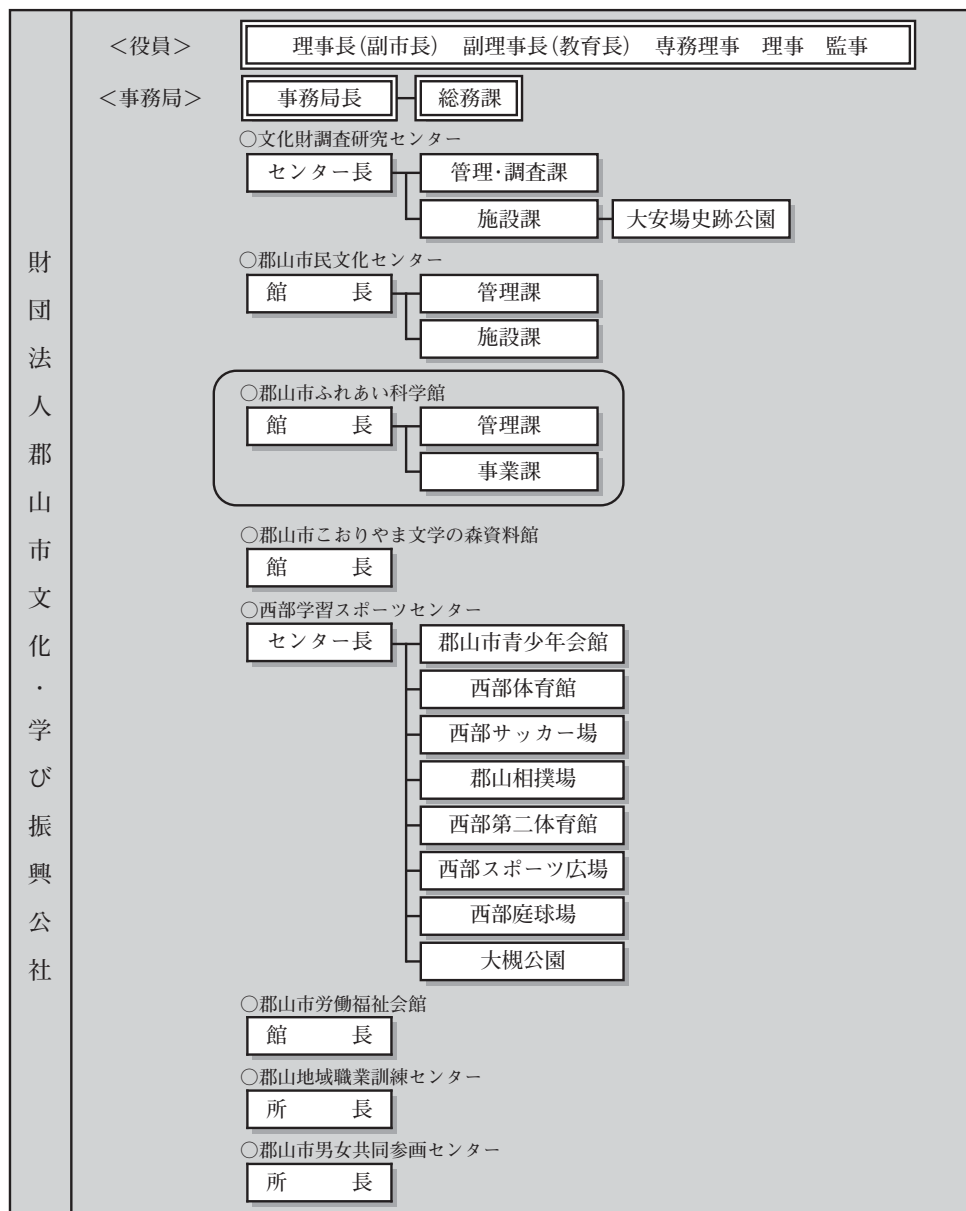
* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図<平成23年度>



(2) 職員配置<平成24年3月31日現在>

館長(1)

-管理課(8)-

課長(1)、主任(2)、常勤嘱託(1)、臨時職員(4)

-事業課(29)-

課長(1)、主任(2)、主査(3)、技査(2)、主事(2)、非常勤嘱託(1)、臨時職員(18)

合計38名

5 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→(仮称)ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年6月～7月>

○(仮称)ふれあい科学館建設検討委員会開催

<平成10年10月～12月>

○宇宙劇場に係る機種選定検討委員会開催

<平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

<平成12年3月>

○20階研修ゾーン(保留床)の追加取得決定

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

<平成12年3月～平成13年6月>

○展示物、プラネタリウム、内外装等の工事施工

▶平成12年度

<平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年7月>

○福島大学大学院サテライト教室等の設置に関する基本協定書締結

<平成12年9月>

○科学館キャラクター決定(制作者:漫画家 松本零士氏)

<平成12年12月>

○科学館愛称決定(愛称:スペースパーク)※応募総数:2,849点

<平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年6月>

- 郡山市ふれあい科学館条例施行規則制定

<平成13年7月>

- 工事関係完了引渡式
- シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成13年8月>

- 22階展望ロビーをプレオープン

<平成13年10月>

- 初代館長 永戸法夫就任
- 郡山市ふれあい科学館開館
 - ※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱
- 有料ゾーン入館者が1万人突破
- 展望ゾーン入館者が10万人突破
- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）
 - ※日本科学未来館館長毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長渡部潤一氏ほか出席

<平成13年11月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成13年12月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成14年1月>

- ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）
- “第2回星の講演会「惑星をさぐる」”開催

<平成14年2月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）
- 有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成14年3月>

- 展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破
- ロボット犬アイボ導入
- “第3回星の講演会「見てみよう土星食！」”開催

▶平成14年度

<平成14年4月>

- 第2代館長 大森高志就任

<平成14年6月>

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成14年7月>

- 有料ゾーン入館者が20万人突破
- 開館1周年記念“松本零士講演会”開催

<平成14年8月>

- 展望ゾーン入館者が50万人突破
- 財団法人郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団との連携事業“縄文の科学・生命の科学ワークショップ”開催
- 国立科学博物館博物館連携促進事業“科学活動指導者研修講座”開催

<平成14年10月>

- 常陸宮両殿下視察
- 開館一周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催
- “第4回星の講演会「宇宙の広がり」”開催

<平成14年12月>

- 福島県立博物館との連携事業“100年前の実験に挑戦!!「石井研堂の理科読み物の世界」”開催
- 開館一周年記念“サイエンスショー”開催

<平成15年1月>

- “第5回星の講演会「CGで宇宙を体験しよう!～天文ライブショー『ユニバース』」”開催

<平成15年2月>

- 有料ゾーン入館者が30万人突破
- 有料ゾーン入館者30万人達成予想クイズ募集 ※433名応募者から8名正解者
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱-音で見てみよう、触ってみよう!”開催

<平成15年3月>

- 郡山市美術館との連携事業“万華鏡（カレイドスコープ）でアート&サイエンス体験”開催
- 展示ゾーン新展示物設置
 - H-II Aロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）
 - 船外活動装置装備宇宙服（協力：日本宇宙少年団）
- “第6回星の講演会「電波で宇宙を調べる？」”開催

▶平成15年度

<平成15年4月>

- 宇宙劇場番組“全天周映像番組”に星空紹介を加え“特別番組”として放映開始
- 宇宙劇場番組“星と音楽のひととき”放映開始
- 特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催
- 福島県立博物館との連携事業“100年前の実験に挑戦!!「石井研堂の理科読み物の世界」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「のぞいてみよう、マイクロ・ワールド」”開催

<平成15年5月>

- 科学館支援グループ（教員等）ほかによる屋台形式のワークショップ“特別自由工房”開催
- “第7回星の講演会「宇宙の仕組みを調べる」”開催

<平成15年6月>

- 宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館
- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー”開催

<平成15年7月>

- “松本零士のスペースアニメ展”開催
- “松本零士のふれあいトーク”開催
- スペースパークボランティア活動開始

<平成15年8月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「科学 DE マジック!と マジック DES 科学!」”開催
- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー”開催
- 財団法人郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団との連携事業“縄文の科学ワークショップ”開催

<平成15年9月>

- 有料ゾーン入館者が40万人突破
- 郡山市美術館との連携事業“星空観測会（平安の「天文博士」安倍清明に挑戦!）”開催

<平成15年10月>

- 火星大接近特別イベント“講座「火星の魅力」&火星大観望会”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催

<平成15年11月>

- “第8回星の講演会「ほうき星を探る」”開催
- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー”開催

<平成15年12月>

- 福島県立博物館との連携事業“100年前の実験に挑戦!!「石井研堂の理科読み物の世界」”開催
- 全国科学館連携協議会との連携事業“サイエンスセミナー”開催
- 宇宙航空研究開発機構、財団法人日本宇宙少年団との連携事業“コズミックカレッジ（エデュケーターコース、キッズコース）”開催

<平成16年2月>

- スペースパークボランティアの会設立
- 日立科学あそび隊との連携事業“じっとしなくちゃ慣性の法則”開催

<平成16年3月>

- 展望ゾーン入館者が100万人突破
- 宇宙航空研究開発機構、財団法人日本宇宙少年団との連携事業“コズミックカレッジ（ファンダメンタルコース）”開催
- 福島県立清陵情報高等学校との連携事業“相撲ロボットで対戦しよう”
「スペースパーク春場所 相撲ロボット大会」開催
- スペースパークボランティアの会との連携事業“鉄道模型を楽しもう”開催

▶平成16年度

<平成16年4月>

- 第3代館長 箭内政勝就任
- 彗星特別企画「彗星スペシャル」開催（4月～6月）

<平成16年5月>

- リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「まわりの石や鉱物を見てみよう！」”開催
- 科学館支援グループ（教員等）やスペースパークボランティアの会の方による屋台形式のワークショップ“サイエンスフェスティバル”開催

<平成16年6月>

- 有料ゾーン入館者が50万人突破
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「身近な理科まるわかり」”開催

<平成16年7月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「木から歴史を知る」”開催
- 曾田香料株式会社との連携事業“香りの魅力～オリジナルの香水を作ってみよう！～”開催

<平成16年8月>

- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー「身近なムシの観察術お教えします」”開催
- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー「音楽にひそむ物理学」”開催

<平成16年9月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「ものづくりで知る形のたのしさ、おもしろさ」”開催

<平成16年10月>

- “郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念 小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「たねの形と仕組み」”開催

<平成16年11月>

- 展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）
- “第9回星の講演会「どこまで見えた？宇宙の果て」”開催

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「いろいろなエネルギーをつくり出そう」”開催

<平成16年12月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「すきすきの星の世界、混み混みの銀河の世界」”開催

<平成17年2月>

○県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「雲を掴む」”開催

<平成17年3月>

○有料ゾーン入館者が60万人突破

○福島県立清陵情報高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催

○スペースパークボランティアの会発会1周年記念“スペースパークボランティアまつり”開催

▶平成17年度

<平成17年5月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「からくり人形とロボットの動く仕組み」”開催

<平成17年6月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「音の環境/環境の音」”開催

○郡山市立希望ヶ丘図書館・文化財調査研究センターとの連携事業“放課後の科学教室「石皿で切り絵」”開催

<平成17年7月>

○文化財調査研究センターとの連携事業“アンギン編みでコースターを作ろう”開催

○郡山市立希望ヶ丘図書館・文化財調査研究センターとの連携事業“放課後の科学教室「石皿できなこづくり」”開催

<平成17年8月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「大宇宙への誘い」”開催

○スペースパークボランティアの会の出張活動“おおまち笑・Show・商”に参加

<平成17年9月>

○アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

○“第11回星の講演会「アインシュタインの宇宙」”開催

<平成17年10月>

○有料ゾーン入館者が70万人突破

○郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「パラボラアンテナで実験！」”開催

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催

<平成17年11月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「ぐにゅ・くにゅ、ゲルの摩訶不思議な世界」”開催

○郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「エアカーを作ろう!!」”開催

○郡山市ふれあい科学館・郡山市こおりやま文学の森資料館連携事業“星の講演会スペシャル版「星と民話の夕べ」”開催

○スペースパークボランティアの会の出張活動“ウィンターフェスティバル2005駅前大通りエビスコフェスタ”に参加

<平成17年12月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「自転車発電でクリスマスツリーをともしろ！」”開催

<平成18年1月>

- 展望ゾーン入館者が150万人突破
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「ものづくりって、ちょっとあぶないけどおもしろい」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「葉脈標本作り」”開催

<平成18年2月>

- “第12回星の講演会「太陽系の果てを探る－第10番惑星は存在するか－」”開催
- 磐梯山噴火記念館との連携事業“科学ゼミナール「宇宙の火山・地球の火山」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「簡単万華鏡」”開催
- 福島大学数学教室（森本明）研究室との連携事業“感じる科学のアイデア～センサーロボットの動きをつくる～”開催

<平成18年3月>

- 展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン
オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット！”開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催

▶平成18年度

<平成18年5月>

- “南極の水展 特別講演会「南極ってどんなところ？」”開催

<平成18年6月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「酵素パワーのひみつ ～食べ物を消化せよ！～」”開催
- “十二星座しんけいすいじゃくゲーム”新登場

<平成18年7月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「よい眠りを科学する」”開催

<平成18年8月>

- 有料ゾーン入館者が80万人突破
- 宮沢賢治生誕110周年記念“星の講演会スペシャル版「銀河鉄道の夜 朗読会」”開催

<平成18年9月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催（9・10月）
- 郡山市立美術館との連携事業“もっと身近にアニメーション（郡山市立美術館「ピクサー展」関連事業）”開催

<平成18年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 国際宇宙ステーション（ISS）の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成18年11月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催
- “マンガの日スペシャル企画「まんがでサイエンス！」”開催

<平成18年12月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「色をとりだし、光をつくる!?””開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「カラダ・ダ・ヴィンチ～美術に学ぶ身体の不思議～」”開催

<平成19年1月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「かたちで遊ぼう！」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「ビー玉&空気ごま」”開催

<平成19年2月>

- “第13回星の講演会「太陽系誕生の謎」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「ふりふり振り子」”開催

<平成19年3月>

- “シアトリカル・プラネタリウム「いつか、そらまで」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館・文化財調査研究センターとの連携事業“放課後の科学教室「プラアクセサリー・土器のペン立て作り」”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!””開催
- “ロボットで遊ボット!特別企画「ASIMOが郡山にやってくる!””開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催

▶平成19年度

<平成19年4月>

- 第4代館長 佐藤秀一就任
- “宇宙図解説ミニ講座～科学技術週間に連動!～”開催

<平成19年5月>

- “いないいないばあっ!ワンワンとあそぼうショー+プラネタリウム”開催
- “日本南極観測50周年記念「南極の氷展」”開催

<平成19年6月>

- “科学ゼミナール全館企画スペシャル「親と子の地球環境ワークショップ」”開催
- 有料ゾーン入館者が90万人突破
- “第14回星の講演会「宇宙から見た地球」”開催

<平成19年7月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999～星空はタイムマシーン～太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成19年10月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞
- フォレストパーク・福島大学との連携事業“「ふくしま環境探検隊」”開催
- 新潟大学工学部との連携事業“「科学技術へのいざない」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「からだ・ダヴィンチ～アートに学ぶ身体づくり～」”開催

<平成19年11月>

- “マンガの日「まんが de Science (サイエンス) '07」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「音をつくる」”開催
- “星の講演会スペシャル版「星と民話の夕べ」”開催

<平成19年12月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「麻痺した手足の動きを電気で支援する」”開催
- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催
- 展望ゾーン入館者が200万人突破

<平成20年1月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「健康と運動～身体を分解し、必要な運動の種類や量を探る～」”開催

<平成20年2月>

- “天体観察指導者向け「天体望遠鏡操作講習会」”開催
- “第15回星の講演会「第2の地球をさがせ！～太陽系外の惑星たち～」”開催

<平成20年3月>

- チャーリー西村のわくわく環境実験「酸性雨ってなんだろう？」”開催
- “星空案内人 資格認定証授与式”開催
- “あなたも星空のカメラマン！～星の写真にチャレンジ～入門編～”開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット！”開催

▶平成20年度

<平成20年4月>

- “「光マップ」ミニ講座～科学技術週間に連動！～”開催

<平成20年5月>

- “南極のふしぎ展～南極は楽園？～”開催

<平成20年6月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」”開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「たべる科学(1)～いろいろな味を感じてみよう！～」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「たべる科学(2)～食べ物のDNAをとりだしてみよう！～」”開催

<平成20年7月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”放映開始
- “第2回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成20年8月>

- 東京デザイナー学院アニメーション科キャラバン隊との連携事業“「アニメーション上映会32th」”開催
- 有料ゾーン入館者が110万人突破

<平成20年9月>

- 福島大学連携講座“「蒼い星・地球について考える」”開催

<平成20年10月>

- “第16回星の講演会「最新CGで見る宇宙の姿」”開催
- “ノーベル物理学賞・化学賞紹介パネル展”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 新潟大学工学部との連携事業“「科学技術へのいざない」”開催

<平成20年11月>

- “アート&サイエンス'08”開催
- “びっくりサイエンス教室～無重力を体感する、二酸化炭素の正体、科学捜査～”開催

<平成20年12月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”放映開始
- “第3回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成21年1月>

- “月焼き陶芸の魅力～手のひらで宇宙を感じよう～”開催
- “第1回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト
- “第17回星の講演会「星くずから地球、そして月へ～スーパーコンピュータが解き明かす誕生の秘密～」”開催
- 福島県立福島高等学校との連携事業“「科学のかけ橋inスペースパーク～福高生によるサイエンス教室～」”開催

<平成21年2月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「健康の科学(1)～運動でスッキリ!メタボも解消!～」”開催
- “ソーラーカーをつくろう!～自然エネルギーを学ぼう～”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「健康の科学(2)～健やかな眠りのための脳のしくみ～」”開催
- 科学ゼミナール サイエンスカフェ「アポロは本当に月に行ったの!?”開催

<平成21年3月>

- 荻野先生のわくわく環境実験「水について考えよう!」開催
- プラネタリウム演劇フェスティバル開催
- 高校生対象天体観測実習「君が天文学者になる3日間at郡山」開催
- “第4回星空案内人 資格認定証授与式”開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催

▶平成21年度

<平成21年4月>

- 世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催
- “「天体望遠鏡400年」ポスター解説ミニ講座～科学技術週間に連動!～」開催

<平成21年6月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「電池のしくみ」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「モーターを作ってみよう」”開催
- “第18回星の講演会「日食を見よう!～日食・宇宙の果てしなき魅力～」”開催
- “ソーラーカーをつくろう!～自然エネルギーを学ぼう～”開催

<平成21年7月>

- “夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”投映開始
- “第5回星空案内人 資格認定証授与式”開催
- “世界天文年2009「部分日食観望会」”開催
- “第5回星空案内人 資格認定証授与式”開催
- 有料ゾーン入館者が120万人突破

<平成21年9月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「バイオマスのエネルギー利用」”開催
- 「第4回農業総合センターまつり」ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(spff)コーナーに参加
- 新潟大学工学部との連携事業“「科学技術へのいざない」”開催
- “平成21年 宇宙の日「全国小中学生作文絵画コンテスト」表彰式”開催
- “天体観望会 at 布引高原～風の高原で星空を見上げよう！～”開催

<平成21年10月>

- “大安場史跡公園天体観望会”開催
- 福島県立福島高等学校との連携事業“「科学のかけ橋 in スペースパーク～福高生によるサイエンス教室～」”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- “ガリレオの夕べ in 郡山”開催

<平成21年11月>

- “全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催
- 小学校1年生から4年生対象“コスミックカレッジ「キッズコース」”開催
- “ワークショップ「君もガリレオ～望遠鏡を作って宇宙を見よう！～」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「食べない油を燃料にするシステムについて」”開催

<平成21年12月>

- 科学ゼミナール“サイエンスカフェ「宇宙・地球・生命」”開催
- 世界天文年2009“「地球と宇宙の火山どっちが大きいか？」”開催
- “スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催
- “冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”投映開始
- “世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催
- 展望ゾーン入館者が250万人突破

<平成22年1月>

- “サイエンスセミナー「実験・工作de楽しもう!!」”開催

<平成22年2月>

- 福島県電波適正利用推進員協議会との連携“「ファミリー電波教室」”開催

<平成22年3月>

- “第6回星空案内人 資格認定証授与式”開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット！”開催
- 有料ゾーン入館者が130万人突破
- “7STARSキャンペーン～一週間の7天体を全部見ようよ！キャンペーン～”開始

▶平成22年度

<平成22年4月>

- 第5代館長 遠藤育夫就任
- “宇宙の日記念行事「全国小・中学生作文絵画コンテスト」”作品募集開始

<平成22年5月>

- “ゴールデンウィークスペシャル企画「サイエンスフェスティバル」”開催
- “地質の日記念 野外講座「郡山で化石をさがそう」”開催

<平成22年6月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第1回「なぜ聞こえるの？ どうして美しいと感じるの？ “音”の不思議」”開催
- 郡山市生活環境課との共催“普及活動「かんきょう学習塾」”開催

<平成22年7月>

- “七夕コンサート「シタールの旋律と七夕の星空」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第2回「こんなところに自然が！ 郡山駅周辺の植物観察」”開催
- “宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始
- “わくわくスペースパークの夏「鉄道模型操作体験」”開催

<平成22年8月>

- “字幕付きプラネタリウム 第1回”放映(一般番組「宇宙人はいるの？ ～地球外生命の可能性～」)

<平成22年9月>

- “一般番組スペシャル版「おかえり！ はやぶさ～オーストラリアへ『はやぶさ』を迎えに行きました～」”開催
- “星景写真撮影講座「夜空を切り取れ！～星・月の風景撮影超入門～」”開催
- “第7回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成22年10月>

- “鉄道の日「鉄道フェスティバル」”開催
- 文学の森資料館との連携事業“星の講演会スペシャル版「星と民話の夕べ」”開催
- 福島高校との連携事業“科学へのかけ橋 in スペースパーク～福高生によるサイエンス教室～”開催
- 有料ゾーン入館者が140万人突破

<平成22年11月>

- “第2回ふくしま 星・月の風景フォトコンテスト”作品募集開始
- “全館企画「ようこそ！ 宇宙ステーションへ」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第4回「ねばねばもちもちあさか舞を科学しよう！」”開催
- “宇宙学校・こおりやま「宇宙に夢中！」”開催

<平成22年12月>

- “スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」”開催
- “サイエンスカフェ「エレベータで宇宙へ行けるのか」”開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始
- “クリスマスコンサート「聖夜に響くハンドベルの音色」”開催
- 平成22年3月にスタートした“7STARSキャンペーン～一週間の7天体を全部見ようよ！ キャンペーン～”終了

<平成23年1月>

- “第8回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成23年2月>

- “字幕付きプラネタリウム 第2回”放映(親と子の天文教室「冬の星めぐり・ふたご座物語」)
- “ファミリーコンサート「りょうこおねえさんとほしぞらコンサート」”開催
- “ふくしまFMとの連携事業「1枚の写真から 公開ライブ」”開催

<平成23年3月>

- 「東日本大震災」により3月11日より休館

▶平成23年度

<平成23年4月>

- 「東日本大震災」により4月28日まで休館、4月29日より開館
- “スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成23年5月>

- “宇宙の日記念行事「全国小・中学生作文絵画コンテスト」”作品募集開始
- “「ふくしま応援隊（大阪）」がやってくる！マッキーのおもしろ科学教室”開催

<平成23年6月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第1回「びっくりトリックアート箱」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第2回「どうしてわかるの？心理テストのひみつ」”開催

<平成23年7月>

- “宇宙劇場 サマーコンサート「夏の夜空を二胡とともに」”開催
- “「第11回コンピュータグラフィックス展」”作品募集開始
- “宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”投映開始
- “「はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」”開催
- わくわくスペースパークの夏“子ども夢ワークショップ みんなで工作「新エネルギーを考えよう～燃料電池～」”開催

<平成23年8月>

- “「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催
- わくわくスペースパークの夏“親子で体験！「よくわかる放射線教室」”開催
- 有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成23年9月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第3回「だるまおとしを作ってみよう！」”開催
- 新潟大学との連携事業“小中学生・高校生のための「科学技術へのいざない」”開催
- “第8回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成23年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催
 - ・開館10周年記念セレモニー
 - ・科学の祭典 in こおりやま
 - ・プラネタリウム“1日8回投映”
 - ・記念もちつき、星座ビンゴ大会
 - ・サイエンスショー「科学の鉄人がやってくる」
 - ・電子デバイスで見る松本零士の世界
 - ・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」
- “プラネタリウムフェスティバル”開催

<平成23年11月>

- “コスミックカレッジ「キッズコース」”開催
- “宇宙劇場 オータムコンサート「笛と星空のカルテット」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第4回「最新ロボットのしくみ」”開催

<平成23年12月>

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」”開催
- “「ライフ—いのちをつなぐ物語—」チャリティ上映会”開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”投映開始

<平成24年1月>

- “宇宙劇場 ウィンターコンサート「カバキーニョとアンデスの星空」”開催
- “字幕付きプラネタリウム”投映（一般番組「宇宙カレンダー」）
- 宇宙劇場改修のため1月10日より休館
- “特別展示「ミニプラネタリウムで星めぐり～身近な星グッズとプラネタリウムのふしぎ展～」”開催

<平成24年2月>

- 展望ロビー入館者が300万人突破

<平成24年3月>

- “科学ゼミナール「けんじ（宮沢賢治）せんせいの科学教室」”開催
- “スペースパークボランティアの会主催「スペースパークボランティアまつり」”開催
- “福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業「ロボットで遊ボット！」”開催

Ⅱ 平成23年度事業活動実績

1 開館10周年記念事業

<開館10周年記念事業～視覚の科学～トリックアート展>

☆開催期間：4月29日(金・祝)～5月8日(日)

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室

☆参加者数 3,473人

☆内 容 平面に描かれた絵なのに写真に撮ると立体的に見える不思議な絵画や、上下を逆さまにすると全く別の絵に変わる「逆さ絵」など、視覚と脳が判断するトリックアートの作品に接して、ふしぎな視覚の世界を体験していただいた。



※参加型企画展にも記載

<開館10周年記念事業「はやぶさがやってきた!～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」>

☆開催期間 平成23年7月27日(水)～7月31日(日)

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室

☆来館者数 7,015人

☆内 容 7年の歳月をかけ、小惑星「イトカワ」のサンプルを持ち帰ってきた小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを展示。また、福島県内で「はやぶさ」ミッションに関わった企業・大学などの活躍についても紹介。7月26日(火)には内覧会を開催し、市関係者及び宇宙少年団こおりやま分団員を招待した。



内覧会の様子



特別展示の様子

<開館10周年記念事業「宙のまにまに」の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～>

●『宙のまにまに』作品原画展

☆開催期間 平成23年 8月6日(土)～28日(日)

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室

☆内 容 高校天文部を舞台にした人気漫画「宙のまにまに」の貴重な原画や、原作者の柏原麻実先生が撮影された星景写真及び作画道具を展示した。

☆入館者数 8,924人

●気軽に楽しむ星の世界～柏原麻実先生講演会～

☆講 師 柏 原 麻 実 氏(漫画家)

☆開催日時 平成23年 8月21日(日)16時～17時30分

☆場 所 宇宙劇場

☆参加者数 115人

☆内 容 宇宙劇場で星を見るためのポイントを紹介していただいたほか、科学館プラネタリウム解説員とともにプラネタリウムの星空解説をしていただいた。



作品原画展の開催風景

※参加型企画展にも記載

<開館10周年記念セレモニー>

●開館10周年記念式典

☆開催日時 10月1日(土)9時40分～10時15分

☆開催場所 宇宙劇場

☆出席者 松本零士先生(名誉館長)、市長、教育長、郡山市議会議員、郡山市議会文教福祉常任委員、平成13年10月1日生まれの郡山市民7人ほか 計220人

☆司 会 矢野真未氏(ふくしまFM)

●開館10周年記念講演会「宇宙 この10年とその未来」

☆開催日時 10月1日(土)10時15分～11時

☆開催場所 宇宙劇場

☆講 師 渡部潤一氏(国立天文台教授)

☆参加者数 220人

<開館10周年記念事業「科学の祭典 in こおりやま」>

☆開催期間 平成24年10月1日(土)・2日(日)

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館・ビッグアイ7階会議室・1階エスカレータ特設ステージ
福島県立萌世高等学校体育館

☆来館者数 7,033人(うち宇宙劇場入館者1,858人)

☆内 容 「夢から未来へ」をテーマに、科学を楽しめるお祭りを第1会場(科学館)、第2会場(ビッグアイ 7F会議室)、第3会場(ビッグアイ 1F エスカレータ下特設ステージ)、第4会場(福島県立郡山萌世高等学校体育館)で実施した。科学館の宇宙劇場、展示ゾーンでは、無料開放を実施した。実施にあたっては、県内の高校、大学、県内外の企業、ふくしまサイエンスぷらっとホーム加盟機関の協力を得て実施した。

☆出展総数 52

●第1会場(23階宇宙劇場)

プラネタリウムの特別プログラムを無料開放にて投映した。

投映回数 13回

参加者数 1,858人

●第1会場(22階展望ロビー)

記念セレモニー(10月1日)

●第1会場(21階展示ゾーン)

電子書籍でみる松本零士の世界(10月1日～30日)

松本零士先生によるギャラリートーク(10月1日)

サイエンスショー

ロボットショー

●第1会場(20階研修ゾーン)

高校生を主体とした実験・工作ブース

参加高校:福島県立安積高等学校、福島県立安達高等学校、
郡山女子大学附属高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、
日本大学東北高等学校、福島県立福島高等学校

科学の実験教室「サイエンススタジオ」

●第2会場(ビッグアイ 7F会議室)

企業や大学などを主体とした実験・工作・研究内容紹介ブース

参加機関:会津大学、NEC ネットワークプロダクツ株式会社、国立天文台、株式会社五藤光学研究所、こむこむ(福島市子どもの夢を育む施設)、JAXA・日本宇宙少年団・KUMA、日本大学工学部、福島県ハイテクプラザ、福島大学、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(spff)、藤倉航装株式会社、古河電池株式会社、株式会社ヨシダコーポレーション

●第3会場(ビッグアイ 1F エスカレータ下特設ステージ)

記念もちつき(10月1日)

星座ビンゴ大会(10月1日)

サイエンスショー(10月1日・2日)

出演者:科学の鉄人2009優勝 佐藤真太郎さん、科学の鉄人2007・2008優勝 益田孝彦さん、ムシテックワールド、郡山市ふれあい科学館

●第4会場(福島県立郡山萌世高等学校体育館)

JAXAによる「ミッションX at 郡山」、「ロケット打ち上げ音響体験」を実施(10月1日)



23階宇宙劇場での記念セレモニーカウントダウンの様子



記念講演の様子



平成13年10月1日生まれの「小さな来賓」へのインタビューの様子



館内の様子



22階展望ロビーの記念セレモニー



記念もちつぎの様子



星座ビンゴ大会



「電子書籍でみる松本零士の世界」
ギャラリートーク



7階企業ブース



ロケットの打ち上げ音響体験



高校生ブース



ムシテックワールドさんによる
科学の実験ショー



「科学の鉄人」佐藤真太郎さんによる
科学の実験ショー



「科学の鉄人」益田 孝彦さんによる
科学の実験ショー



スペースパークゴっちゃんによる
科学の実験ショー

<開館10周年記念 プラネタリウムフェスティバル>

開館10周年を記念し、この10年間に放映したプラネタリウム番組の中でも、人気や関心の高かったテーマをアンコール放映した。

<PART 1 >

放映期間：平成23年10月8日(土)～10日(月・祝)

放映回	番組タイトル	観覧者数
第1回	恐竜絶滅のなぞ	136人
第2回	ブラックホールのひみつ	166人
第3回	銀河鉄道の夜	151人
第4回	太陽系大紀行	156人

<PART 2 >

放映期間：平成23年10月15日(土)・16日(日)

放映回	番組タイトル	観覧者数
第1回	宇宙人をさがせ!	123人
第2回	宇宙の実験室	53人
第3回	銀河鉄道の夜	119人
第4回	私たちは星の子ども?	75人

<PART 3 >

放映期間：平成23年11月3日(木・祝)・5日(土)・6日(日)

放映回	番組タイトル	観覧者数
第1回	太陽の星座めぐり	111人
第2回	地球カレンダー	84人
第3回	星になったチロ	115人
第4回	オーロラの旅	187人

観覧者総数 1,476人



PART 1



PART 2



PART 3

<開館10周年記念事業 鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」>

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマを活用したショーや鉄道模型の操作体験、工作コーナーなどを実施した。また開館10周年を記念して、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の企画展を開催した。

☆開催日時 平成23年10月8日(土)～16日(日)10時～17時

☆対象 幼児から一般

☆参加者数 9,949人

☆内容 ①「きかんしゃトーマスとなかまたち」企画展

(1)「レッツゴートーマス」

実際に乗車できる「きかんしゃトーマス」を設置し、乗車体験を行った。

(2)「ファサードトーマス」

会場入り口でお客様をお出迎えする車両を設置した。

(3)「車庫ふわふわ」

「きかんしゃトーマスとなかまたち」のエアトランポリンを設置し、体験していただいた

②鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。また、11:00、13:00、15:00、17:00からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

③鉄道模型操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行い多くの方に楽しんでいただいた。

④工作コーナー

ボランティアの方などの協力により、赤青フィルムを使った立体視メガネを作り新幹線や機関車の立体画像を見て楽しんでいただいた。

⑤プラレールで遊ぼう

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。



きかんしゃトーマスとなかまたちの様子



鉄道模型操作体験の様子

<開館10周年記念事業 スペースパーク企画展「ドラえもんの科学みらい展」>

世代や国を越えて人々を魅了しつづけている「ドラえもん」。そこに登場するひみつ道具をテーマに、現在の科学技術はドラえもんの世界をどこまで実現できているのかを、体験型展示で紹介した。

会場には特殊素材を使用した透明マントや、物のさわりごちを伝える展示、世界最小のヘリコプターなどの展示を行った。

☆開催日時 平成23年12月10日(土)～平成24年1月15日(日)10時～17時

☆開催場所 第1会場：市民ふれあいプラザ展示室、第2会場：多目的研修室

☆対象 主に幼児・小学生がいるファミリー層

☆参加者数 18,220人



透明マント体験コーナー(第1会場)の様子



おしゃべりロボット体験(第2会場)の様子

<スペースパーク企画展特別イベント ワークショップ「さわりごち」を伝えよう!>

企画展で展示されている展示物の一部を制作した南澤氏を講師に迎え、さわる感覚(触覚)についての解説及びテクタイルツールキットを使って物のさわりごちを他人に伝える実験を実施した。

☆開催日時 平成24年1月7日(土)14時～16時

☆講師 南澤孝太氏

(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)

☆開催場所 実験工房

☆対象 小学校4年生～一般

☆参加者数 20人

☆内容 スペースパーク企画展の一環として、展示物にちなんだ実験・工作を体験できるワークショップを開催した。ふだんあまり意識しないさわる感覚(触覚)について、目隠しをしている様々な物をさわったり、講師の先生方が開発したテクタイルツールキットという道具を使って物のさわりごちを他人に伝える実験を行った。



ワークショップ「さわりごち」
を伝えよう!の様子

<ドラえもんがやってくる!>

ビッグアイ内のドラえもんの科学みらい展会場等にドラえもん(着ぐるみ)を登場させ、ビッグアイ入館者を対象に握手や記念撮影を実施した。

☆開催日時 平成23年12月10日(土)、11日(日)、18日(日)、25日(日)

※各日とも1日4回(10時30分～、12時～、13時30分～、15時～)登場

☆開催場所 ビッグアイ1階(物販コーナー)、ビッグアイ6階(第1会場前)、ビッグアイ22階(第2会場入口前)

☆参加者数 各回合計約2,000人



ドラえもんがやってくる!の様子

2 市民鑑賞型事業

(1) 宇宙劇場番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		※19時
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	

※ 祝日を除く金曜日のみ投映

* 東日本大震災により、4月28日(木)まで休館

* 宇宙劇場映像システム改修及びプラネタリウムオーバーホールのため、平成24年1月10日(火)から休館

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2か月ごとに更新して投映した。

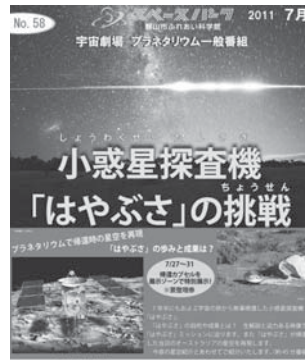
投映時間:平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第4・6回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
環をもつ惑星～土星の姿～	平成23年 4月 29日(金) ～6月30日(木)	100回	1,876人
小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦	平成23年 7月 1日(金) ～7月31日(日)	55回	3,923人
星空を見上げよう! ～みんなでスターウォッチング～	平成23年 8月 1日(月) ～8月31日(水)	59回	2,991人
夢の時空旅行 ～タイムマシンはできる?～	平成23年 9月 1日(水)～10月30日(日)	71回	2,042人
宇宙カレンダー	平成23年 11月 1日(火) ～平成24年 1月 9日(月)	95回	1,904人

観覧者総数 12,736人



環をもつ惑星



小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦



星空を見上げよう!



夢の時空旅行



宇宙カレンダー

親と子の天文教室

季節の星座紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ、子どもと大人と一緒に楽しめるように、易しい解説を加えたプラネタリウム番組を投映した。

放映時間:土曜・日曜・祝日、春休み・ゴールデンウィーク期間の第1・3回目、夏休み及び冬休み期間は休止

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
春を教えてくれる星座・おとめ座物語	平成23年 4月29日(金)~5月29日(日)	32回	1,237人
もうひとつの七夕物語 ~あめわかひこ物語~	平成23年 6月 4日(土)~7月10日(日)	23回	1,086人
お月見と竹取物語	平成23年 9月 3日(土) ~25日(日)	20回	936人
金星探検とやぎ座物語	平成23年10月22日(土) ~30日(日)	8回	226人
秋の星さがし・ペガサス座物語	平成23年11月12日(土) ~27日(日)	12回	438人
冬の星めぐり・オリオン座物語	平成23年12月 3日(土) ~18日(日)	11回	338人

観覧者総数 4,261人



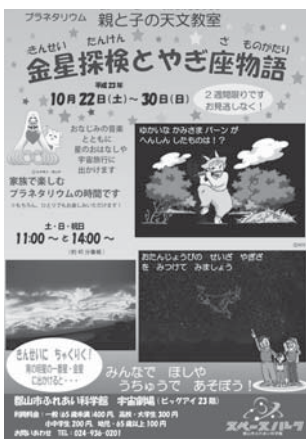
春を教えてくれる星座
おとめ座物語



もうひとつの七夕物語



お月見と竹取物語



金星探検とやぎ座物語



秋の星さがし・ペガサス座物語



冬の星めぐり・オリオン座物語

特別番組

70mmの大型フィルム(全天周映像)に星空紹介を加えた科学性の高い番組を夏休み期間に1日4回上映した。夏休み特別番組は先行試写会や観覧者5,000人達成記念の記念品授与など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、モルティ事業部と連携し商業施設での動刻の展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬休み期間にも70mmの大型フィルム(全天周映像)に星空紹介を加えた特別番組の上映及びモルティ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

<夏休み特別番組「Bugs!」>

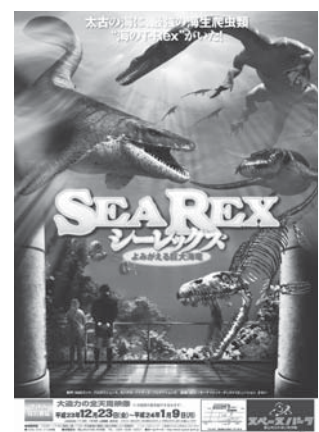
上映期間:夏休み期間(7/16~8/24)の
第1・2・4・6回目

<冬休み特別番組「シーレックス」>

上映期間:冬休み期間(12/23~1/9)の
第1・3回目



Bugs!



シーレックス

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～	平成23年7月16日(土)～8月24日(水)	159回	10,960人
シーレックス	平成23年12月23日(金)～平成24年1月9日(月) ※1月8日、9日は上映追加	30回	5,253人

観覧者総数 16,213人

<夏休み特別番組先行試写会>

夏休み特別番組の先行試写会を行った。試写会終了後は、モルティ1階で「巨大昆虫除幕式」を行った。

「夏休み特別番組 先行試写会」

☆開催日時 平成23年7月10日(日)11時30分～12時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者220人

☆内 容 主催者あいさつ、夏休み特別番組の見所紹介、番組鑑賞、巨大昆虫除幕式など



主催者あいさつ



巨大昆虫除幕式

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するほか、夜間の利用が増加すると見込まれる夏休み期間に主に家族を対象に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組放映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を放映した。

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
見上げてごらん、宇宙の星を ～七夕の夜の宇宙のお話～	平成23年 7月 7日(木)18時30分～19時30分	1回	38人
いつもは紹介しきれない “ちよいまニ”星空散歩	平成23年 8月13日(土)18時30分～19時30分	1回	23人
宇宙旅行時代がやってくる!?	平成23年 8月14日(日)18時30分～19時30分	1回	27人
宇宙の錬金術? ～星から生まれる～	平成23年 8月16日(月)18時30分～19時30分	1回	31人
中秋の名月を楽しむ	平成23年 9月10日(土)18時30分～19時30分	1回	38人
クリスマスの夜	平成23年12月24日(土)、25日(日) 18時30分～19時30分	2回	199人

観覧者総数 356人

学習番組 ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。また、今年度から希望学校には第2回目の投映終了後に、児童・生徒からの質問を受けつける「質問コーナー」も実施した。

投映時間:学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座をみつけよう(小学校低学年以上)	通 年	23回	1,488人
日なたと日かげ(小学校中学年以上)		5回	240人
月と星の動き(小学校中学年以上)		47回	4,019人
地球と宇宙(中学生以上)		5回	552人
宇宙の構造(中学生以上)		3回	295人
郷土を学ぶ(小学校高学年以上)		1回	108人
惑星大冒険(小学生以上)		4回	193人
月面クレーターをさぐる(小学生以上)		0回	0人

観覧者総数 6,895人

幼児番組 ※幼児週間に集中して投映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間:学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
おとめ座物語と銀河への旅	平成23年 5月	2回	95人
七夕・あめわかひこ物語と天の川の旅	平成23年 6月~7月中旬	21回	2,771人
お月見と竹取物語	平成23年 8月下旬~9月	7回	867人
やぎ座物語と金星への旅	平成23年10月 ~12月	21回	2,000人

観覧者総数 5,733人

字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を投映した。

(字幕作成協力:要約筆記「香久池サークル」)

- ☆ 開催日時 平成24年1月9日(月・祝) 12時30分~13時15分
- ☆ 内 容 一般番組「宇宙カレンダー」
- ☆ 観覧者数 61人



字幕つきプラネタリウム

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートなどを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しみリラックス番組を放映した。例年は2か月毎のテーマを設定していたが、今年度は4 - 5月及び9月、11月、12 - 1月に過去の人気番組のアンコールを行い、多くの番組を放映した。

放映時間：星と音楽のひととき/平日(祝日・学校休業期間等を除く)第4回目

土曜・日曜・祝日・学校休業期間(夏休みを除く)第5回目

星と音楽の夕べ/毎週金曜日(祝日を除く)第6回目

月	音楽テーマ	放映回数	観覧者数
4月	スピッツ特集	32回	812人
5月			
6月	90年代ヒット曲特集	30回	459人
7月	BUMP OF CHICKEN特集	27回	1,264人
8月			
9月	銀河鉄道の夜	30回	738人
10月	リクエスト特集	28回	544人
11月	小田和正特集	30回	706人
12月	EXILE特集(1月9日まで)	38回	1,634人
1月			

観覧者総数 6,157人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。また、年少者から宇宙に親しむきっかけとなるファミリー向けのコンサートを開催した。

<サマーコンサート「夏の星空を二胡とともに」>

☆開催日 平成23年7月2日(土)

☆開催時間 16時30分～17時30分、18時30分～19時30分

☆演奏 野沢香苗さん(二胡奏者)

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 273人(1回目176人、2回目97人)

※6月4日(土)から観覧券の前売販売を開始

<オータムコンサート「笛と星空のカルテット」>

☆開催日 平成23年11月13日(日)

☆開催時間 13時～14時、15時30分～16時30分

☆演奏 栗コーダーカルテット

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 445人(1回目224人、2回目221人)

※9月24日(土)から観覧券の前売販売を開始

<ウインターコンサート「カバキーニョとアンデスの星空」>

- ☆開催日 平成24年1月7日(土)
- ☆開催時間 13時～14時、15時～16時
- ☆出演者 だいどうじさかえさん(カバキーニョ奏者)、田嶋道生さん(ギター奏者)
- ☆出演回数 2回
- ☆観覧者数 225人(1回目121人、2回目104人)

観覧者総数 943人



サマーコンサートの様子



オータムコンサートの様子



ウインターコンサートの様子

(3)鑑賞型企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テーマ	展示期間
第2回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	平成23年 4月29日(金)～ 5月31日(火)
「はやぶさ」の活躍	平成23年 6月 4日(土)～ 8月31日(水)
月の世界	平成23年 9月 1日(木)～10月30日(日)
宇宙の絶景	平成23年11月 1日(火)～平成24年1月9日(月)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の作品を、市内小中学校に貸出し、宇宙の不思議やコンピュータグラフィックスの楽しさに身近に触れることができる巡回展を行った。

- ☆開催期間 平成23年4月～平成24年2月(学校休業期間を除く)
- ☆貸出回数 54回

ミニプラネタリウムで星めぐり～身近な星グッズとプラネタリウムのふしぎ展～

宇宙劇場改修期間中に、展示ゾーン内においてエアドームによるミニプラネタリウムでの今夜の星空紹介と、天文に関する展示を行った。

- ☆開催期間 平成24年1月28日(土)～3月18日(日)
- ☆内容 ミニプラネタリウム投映、身近な星グッズの展示・実演、プラネタリウムのふしぎ展、金環日食紹介コーナー
- ☆観覧者数 2,194人



ミニプラネタリウムの様子

3 市民参加型事業

(1) 科学普及

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2か月ごとにメニューを更新して実施した。(約20分間)

☆開催時間 平日 10時30分～、13時～
土曜・日曜・祝日 10時30分～、13時～、16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内容
平成23年 4～6月	あら不思議! 浮き沈みのひみつ	126回	1,254人	磁石の力でコマを浮かばせる実験を行い、水の浮力を利用した浮沈子の実験などを行った。
平成23年 7～8月	身近なもので 大実験	124回	1,724人	ムラサキイモの粉末を使用して、家庭にある身近なものが酸性なのかアルカリ性なのかを調べる実験を行った。
平成23年 9～10月	シャボン玉で 大実験	123回	2,231人	三角や星型の枠でシャボン玉を作る実験や、人が入れるシャボン玉にも挑戦した。また、水素や酸素、二酸化炭素でシャボン玉を作りそれぞれのガスの特性を説明した。
平成23年 11～12月	魔法の粉で 大実験	117回	1,299人	高吸水性ポリマーを使用して水がなくなる実験や、メチレンブルーの酸化還元反応実験。洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えると信じられない量の泡が発生する実験や、超微粒子鉄粉の自然発火実験など、粉を用いた実験を行った。
平成24年 1～2月	ドレミの音で 大実験	107回	888人	簡単なストロー笛を配布し、音が鳴る仕組みについて解説した。また、ストローで作成した笛を吹きながらはさみでストローを切ると音が高くなる実験などを行った。
平成24年 3月	空気の中で 大実験	71回	661人	大気圧を利用して、アルミ缶をつぶす実験や、ポーリングの球を持ち上げる実験などを行った。
平成23年 4・5・7・8・10月 (ゴールデン ウイーク、 夏休み、 10周年記念式典)	サイエンスショー アラカルト	54回	1,255人	液体窒素を使って超低温の世界を実感していただく実験や、空気を使った実験。そして風船を使った実験といった、当館でも人気がある実験をア・ラ・カルト形式で行った。



身近なもので大実験



シャボン玉で大実験



ドレミの音で大実験

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、一か月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催日時 開館日の11時30分～、14時30分～

☆開催場所 展示ゾーンびっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成23年 4・5月	いろいろ変わる色実験	32回	779人	酸・アルカリ等の薬品を混ぜて色が変わる実験や、光と色の三原色の違い、炎色反応の演示実験などを行った。
平成23年 6月	様々なプラスチックたち	35回	798人	私たちの生活に欠かせないプラスチックをテーマに、リサイクル方法の体験や、発泡スチロールがリモネンの成分で融けることを利用したネームプレートを製作した。
平成23年 7・8月	お肌の天敵! 紫外線のひみつ	89回	1,946人	白色光の分光で紫外線が見えるかどうかの実験や、太陽からの紫外線を防ぐには、何色の服が有効かなどの実験を行った。また、材料に紫外線ビーズを用いたバッジを製作した。
平成23年 9月	目に見えないミクロの世界	38回	589人	顕微鏡を用いて、アメーバやミジンコを観察し、ビー玉と紙コップで簡易の顕微鏡を製作した。
平成23年 10月	バランスをつかめ! ヤジロベエのひみつ	42回	650人	ヤジロベエについて、バランスをとる仕組みや重りの役割等を実験した。また、バランスストンゴを製作した。
平成23年 11月	キッチンマジック ～台所の科学～	37回	551人	台所にあるものを使って、色の消える烏龍茶や左右逆転するコップ、水に浮かべたゴマが開く実験などを行った。
平成23年 12月	伸びたり縮んだり! ゴムの働き	36回	939人	ゴムの弾性や粘性などについて実験を行った。また、割り箸と輪ゴムで、ゴムでっぽうを製作した。
平成24年 1月	最強磁石決定戦! 一番強い磁石はな～に?	32回	618人	磁石がくっついたり、反発したりする性質を利用して、どんな磁石が一番強いかなどを実験した。また、水に浮かばせて使用する方位磁石を製作した。
平成24年 2月	バチツときたぜ 静電気!	32回	311人	静電気がなぜ起こるのかを紹介し、引き合う性質と反発する性質について実験を行った。また、工作でライデン瓶を製作した。
平成24年 3月	鏡に映る自分は本当の自分? ミラーの科学	40回	643人	合わせ鏡の実験やゆがませた鏡の実験、アナモルフォーシスの実験を行った。また、ストローやビー玉を使って万華鏡を製作した。



目に見えないミクロの世界の様子



バランスをつかめ!
ヤジロベエのひみつの様子



鏡に映る自分は本当の自分?
ミラーの科学の様子

ロボットショー

ロボット犬「アイボ」と二足歩行ロボット「ロボビー」による、ダンスやジャンケンなどの様々なパフォーマンスショーを開催し、ロボット技術への興味関心を高めた。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間
12時30分～、15時30分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆開催回数 290回

☆参加者数 5,709人



ロボットショーの様子

スペースツアー

<スペースツアー>

各展示物の見どころを分かりやすく紹介するため、テーマに沿って展示ゾーン内を巡るガイドツアーを実施した。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日(サイエンスフェスティバル・鉄道フェスティバル期間を除く。)
15時～

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 505人

☆内 容 天の川銀河、コンタクト、宇宙での生活、望遠鏡、
クエスト・オブ・ザ・ユニバース、ロケット、
星の一生



スペースツアーの様子

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日時 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

デジタルスタジオ

展示ゾーンの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して、イラスト制作等を行う教室を開催した。(約50分間)

☆開催日時 土曜日 13時30分～

☆開催場所 パソコン工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 16組

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成23年 5月	アイロンプリントシール 作り	3回	29人	自分の顔写真とイラストを使用して、Tシャツに転写できるシールを製作した。
平成23年 6月	星座早見盤作り	4回	57人	文字やイラストが入ったオリジナルの星座早見盤を製作した。

平成23年 7・8月	うちわ作り	3回	58人	自分の顔写真とイラストを使用してうちわを製作した。
平成23年 9月	マグネットシート作り	3回	58人	自分の顔写真とイラストを使用してマグネットシートを製作した。
平成23年 10月	写真シール作り	2回	34人	宇宙に関する乗り物のイラストに自分の顔写真をはめたシールを製作した。
平成23年 11月	早変わりカード作り	4回	53人	宇宙の写真が自分の顔写真と入れかわるカードを製作した。
平成23年 12月	カレンダー作り	4回	57人	KAGAYAさんの12星座のイラストを使用してカレンダーを製作した。
平成24年 1月	プラバンキーホルダー作り	4回	69人	自分の顔写真と名前でキーホルダーを製作した。
平成24年 2月	写真カード作り	3回	18人	自分の顔写真にフレームや背景などを組み合わせた二つ折りのカードを製作した。
平成24年 3月	名刺作り	5回	64人	自分の顔写真が入った名刺を製作した。

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料を使用して科学工作教室を開催した。(約40分間)

☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～ (イベント開催日は除く)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成23年 5月	音で遊ぼう	3回	65人	プラコップ2種類と針金、OHPシートなどを使い、バネ電話を製作した。
平成23年 6月	磁石で遊ぼう	4回	112人	磁石と水、塩ビ管などを使い、動くかたつむりを製作した。
平成23年 7・8月	まさつで遊ぼう	3回	60人	ひも、ストロー、型紙を使い、摩擦で動くアゲハ蝶を製作した。
平成23年 9月	映して遊ぼう	5回	114人	鏡を6枚使い、光が内部で反射する不思議な箱を製作した。
平成23年 10月	飛ばして遊ぼう	2回	13人	プロペラとストロー、輪ゴムなどを使い、ゴム動力で垂直に飛ばすスカイスクリューを製作した。
平成23年 11月	立体で遊ぼう	6回	105人	筒2本と左右ずらした絵を使い、絵が立体的に見える筒を製作した。
平成23年 12月	ゴムで遊ぼう	5回	127人	輪ゴム、紙コップ、ナット、糸などを使い、ひもを引っ張ると歩くサンタクロースを製作した。
平成24年 1月	アゲて遊ぼう	5回	88人	ストロー、ビニール、風糸などを使い、辰の顔をした風を製作した。
平成24年 2月	回して遊ぼう	5回	56人	クリアカップ、楊枝などを使い、重心を変えられるコマを製作した。
平成24年 3月	模様で遊ぼう	4回	50人	画用紙にマーブリングし、写真立てを製作した。

わくわくカウンター

科学の幅広い分野を、楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを開催した。

☆開催日時 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等に開催)

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
風車	折り紙を使用し、風車を製作した。
こいのぼり	ペーパークラフトで矢車付きのこいのぼりを製作した。
バランストンボ	紙を用いて、トンボのヤジロベエを製作した。
ブーブー笛	風船とストローを用いて、音が鳴る笛を製作した。
くるくるタワー	ストローを用いて、息を吹きかけるとくるくる回転しながら上っていく工作を製作した。
コケッココップ	紙コップとタコ糸を用いて、濡れタオルでタコ糸をこするとにわたりの鳴き声のように聞こえる工作を製作した。
偏光万華鏡	偏光板2枚の間にセロハンテープをはさみ、のぞくと色が変わる工作を製作した。
ぶっとびロケット	スーパーボールの弾性を利用して、ストローでつくったロケットを飛ばす工作を製作した。

サイエンス教室

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることが出来る「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 3,369人

☆内 容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、プラアクセサリー、くるくるリング、分光万華鏡等40種類)

サイエンスショー(パワフル空気の色、超低温の世界)

鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 開館日の11時～、15時～、17時～(約20分間)

☆見学者数 11,322人

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時(ショー開催時間以外)



鉄道ジオラマショーの様子

<運転シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時
- ☆料 金 200円(約5分間)
- ☆運転者数 3,151人

<ウォールミュージアム>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

- ☆開催時間 開館日の10時～17時

ゴールデンウィークはスペースパーク！

震災の影響により休館していたが、このイベントから再開した。科学館支援グループの先生や、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、被災地支援で、独立行政法人産業技術総合研究所の牧原正記さんと大阪科学技術館に協力いただき実験・工作ブースや講座を実施した。



無重力の実験の様子

- ☆開催日時 平成23年4月29日(金・祝)～5月8日(日) 10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 3,473人
- ☆参加団体等 科学館支援グループ(福島大学 小沢先生と学生、福島高校 橋爪先生と生徒、福島大学附属中学校 園部先生、矢吹中学校 佐野先生、宮城小学校 赤間先生)、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(大越さん・難波さん)、大阪科学技術館、スペースパークボランティアの会

●大阪から「ふくしま応援隊」がやってくる！マッキーのおもしろ科学教室

- ☆開催日時 平成23年5月5日(木・祝) ①11時～12時, ②14時～15時
- ☆開催場所 展示ゾーン 実験工房
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 80人

わくわくスペースパークの夏

夏休み期間は、「わくわくスペースパークの夏」と題し、科学を楽しむことができる工作コーナーやサイエンスフェスティバルを実施した。また、東京や大阪からの被災地支援で子ども夢ワークショップ、親子で体験！よくわかる放射線教室などを開催した。

- ☆開催日時 平成23年7月16日(土)～8月24日(水) 10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆内 容 プラコップアクセサリー、風船ロケットなど10種類の工作メニューを、数日ごとに替えて行った。

●子ども夢ワークショップ みんなで工作「新エネルギーを考えよう～燃料電池～」

- ☆開催日時 平成23年7月23日(土) 13時30分～15時
☆開催場所 展示ゾーン (研修室)
☆対象 展示ゾーン入館者
☆内容 NPOエコテックみらい研究所・株式会社プラスエムの寺木秀一先生を講師に身近なもので燃料電池を作り「新エネルギー」について学んだ。



ワークショップの様子

●親子で体験！よくわかる放射線教室

- ☆開催日時 平成23年8月13日(土)・14日(日)
(1)11時～12時30分 (2)14時～15時30分
☆開催場所 展示ゾーン (研修室)
☆対象 展示ゾーン入館者
☆内容 大阪科学技術センターの舟生 武司(ふにゅう たけし)先生、津田 宜孝先生、中村 雅憲先生、松本 尚子先生に放射線に関する実験や工作を行っていただいた。



放射線教室の様子

サイエンスフェスティバル

科学館支援グループの先生方やスペースパークボランティアの会の協力により展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

- ☆開催日時 夏休み期間 パートⅠ:平成23年7月16日(土)～18日(月・祝)10時～17時
パートⅡ:平成23年8月12日(金)～16日(火)10時～17時

- ☆開催場所 展示ゾーン
☆対象 展示ゾーン入館者
☆参加者数 5,417人

- ☆参加団体 科学館支援グループ(福島大学 岡田先生、安達高等学校 對馬先生、矢吹中学校 佐野先生と生徒、福島大学附属中学校 園部先生、宮城小学校 赤間先生)、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会、折紙造形・四季折々、株式会社ナリカ、山形大学SCITAセンター、ヤマハ発動機株式会社(静岡県)のボランティアグループ「おもしろエンジンラボ」、なかやま理化製作所



サイエンスフェスティバルの様子

- ☆内容 ①実験工作:よく飛ぶ!ストロー紙トンボを作ろう、表面張力で遊ぼう!、お絵かきオリジナルキーホルダーを作ってみよう、風に向かって走らせよう!ウインドカーなど
②その他:お天気紹介コーナー、自由研究紹介コーナー、科学グッズ販売など

(2) 講演会等

星の講演会

開館10周年を記念して開催した「宙のまにまに」の作品原画展にあわせ、原作者である柏原麻実先生をお迎えし、宇宙劇場で星の講演会スペシャル版を開催した。

星の講演会スペシャル版

<気軽に楽しむ星の世界～柏原麻実先生講演会～>

- ☆講師 柏原麻実氏（漫画家）
- ☆開催日時 平成23年8月21日(日)16時～17時30分
- ☆場所 宇宙劇場
- ☆参加者数 115人
- ☆内容 宇宙劇場で星を見るためのポイントを紹介いただいたほか、科学館プラネタリウム解説員とともにプラネタリウムの星空解説をしていただいた。



講師の柏原麻実氏



開催風景

「ライフーいのちをつなぐ物語ー」チャリティ上映会

ワンライフ・プロジェクトとの共催により、映画「ライフーいのちをつなぐ物語ー」のチャリティ上映会を宇宙劇場で開催した。

- ☆開催日時 平成23年12月18日(日)11時～12時45分
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆参加者数 一般参加者220人
- ☆内容 主催者あいさつ、作品解説、ワンライフ・プロジェクトサポーターからのメッセージ紹介、映画鑑賞など



BBC三尾氏より作品解説
及びメッセージ紹介



スペシャルノートブックプレゼント

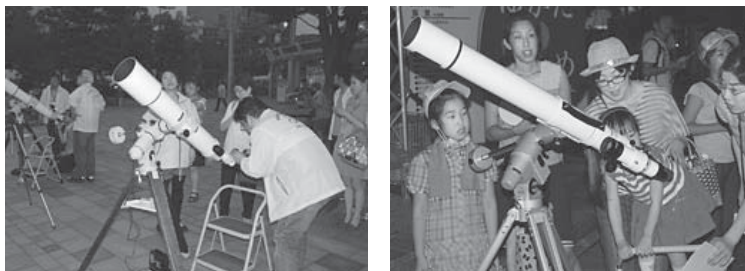
駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前中央広場

☆対 象 一般(当日自由参加)

開催日時	観望内容	参加者数
平成23年 5月 7日(土) 19時~20時	月・土星など	悪天候のため中止
平成23年 6月 11日(土) 19時30分~20時30分	月・土星など	約200人
平成23年 7月 9日(土) 19時30分~20時30分	月・土星など	約10人 ※悪天候のため途中で終了
平成23年 8月 6日(土) 19時~20時	月・土星など	約200人
平成23年 9月 3日(土) 18時30分~19時30分	月など	悪天候のため中止
平成23年 10月 1日(土) 17時30分~18時30分	月・ベガなど	約50人
平成23年 11月 5日(土) 18時~19時	月・木星など	悪天候のため中止
平成24年 3月 17日(土) 18時30分~19時30分	金星・木星など	悪天候のため中止



駅前観望会のようす

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

開催時期 平成23年10月

開催回数 1回

参加者数 約30人

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	平成23年10月8日(土) 18時30分~20時	西田中学校	西田公民館	約30人	天体望遠鏡による月や木星の観察



星の宅配便のようす

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参加校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、日本大学東北高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
平成23年 7月 19日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	夏の星空と流星群観察	16人
平成23年 9月 6日(火)	郡山駅西口駅前中央広場	望遠鏡の組み立て実習	6人
平成23年10月 18日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	星景写真撮影実習	6人
平成23年11月 15日(火)	郡山駅西口駅前中央広場	天体観測実習	7人
平成23年12月 13日(火)	郡山駅西口駅前中央広場	天体観測実習	7人
平成24年 1月 31日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	ミニプラネタリウム見学	14人

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同で講演やワークショップを開催した。

<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

第1回「びっくりトリックアート箱」

☆講 師 渡邊晃一氏(福島大学准教授)

☆開催日時 平成23年6月18日(土)14時～16時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室

☆対 象 小学校3年生～中学生

☆参加者数 17人

☆内 容 人間の遠近感を利用したトリックアートの仕組みの解説や、トリックアートの構図を使った不思議な箱作りを行った。



びっくりトリックアート箱の様子

第2回「どうしてわかるの？心理テストのひみつ」

☆講 師 高原 円氏(福島大学准教授)

☆開催日時 平成23年6月25日(土)13時～15時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室

☆対 象 小学校4年生～中学生

☆参加者数 19人

☆内 容 身近な心理テストをテーマに、多くの心理テストでは多くの人が当てはまる抽象的な結果を出すことで、相手の心を当てているように見せている（バーナム効果）というお話や、心理学で使用されている心理検査を体験した。



どうしてわかるの？
心理テストのひみつの様子

第3回「だるまおとしを作ってみよう！」

☆講 師 片野 一氏(福島大学教授)

☆開催日時 平成23年9月19日(月・祝)13時～15時30分

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室

☆対 象 小学校1～6年生

☆参加者数 親子11組22人

☆内 容 円柱状の木の棒から、だるまおとしを製作した。参加者は、のこぎりの使い方など、製作に必要な道具の使い方などを講師・保護者から学びながら、熱心に取り組んでいた。



だるまおとしを作ってみよう!の様子

第14回「ビー玉顕微鏡」

☆開催日時 平成24年3月15日(木)15時30分～17時

☆参加者数 22人

☆内 容 工作したものを使用して様々な品の観察を行い、レンズの仕組みや観察方法を学習した。

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	平成23年5月19日(木) 14時00分～14時50分	尚志幼稚園	120人	コケッココップを親子で作成し、演示実験を行った。
第2回	平成23年6月22日(水) 13時30分～14時20分	郡山市立薫小学校(3年)	168人	くるくるアニマルを親子で作成し、演示実験を行った。
第3回	平成23年7月6日(水) 12時30分～13時20分	セントポール幼稚園	120人	ふうせんロケットを親子で作成し、演示実験を行った。

(3) 作品募集

第11回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図った。

☆テーマ 楽しい宇宙遊園地

☆部門 小学生以下の部、中学生の部、一般(高校生以上)の部

☆募集締切 平成23年9月30日(金)

☆応募作品 小学生以下の部 44点、中学生の部 142点、一般(高校生以上)の部 28点

☆審査委員 伊藤峰洋氏(有限会社峰洋デザイン 代表、デザイナー)

内田 章氏(専門学校WiZ国際情報工科大学校 教員)

荻野由則氏(郡山市教育委員会 教育研修センター 所長)

木村麗子氏(郡山市立郡山第二中学校 教諭)

佐藤秀彦氏(郡山市立美術館 学芸課長)

西村 憲氏(会津大学 上級准教授)

三浦浩喜氏(福島大学 教授)

渡邊誠一氏(福島県立清陵情報高等学校 教諭)

☆展示期間 平成23年11月2日(水)～平成24年1月15日(日)

※表彰式：平成23年11月27日(日)10時30分～11時

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品

<総合>

【大賞】名誉館長賞：「きっとある！宇宙にかぶビッグ遊園地」

橋本可絵さん(郡山市立薫小学校6年生)

【準賞】スペースパーク賞：「ここがうわさのアミューズメントパーク」

高木早希さん(福島市立福島第四中学校3年生)

【準賞】スペースパーク賞：「幻想観覧」

東海林紘さん(郡山市・一般)

<小学生以下の部>

優 秀 賞：「みんなで遊ぼう楽しい遊園地」上遠野麻衣さん(郡山市立大島小学校6年生)

準優秀賞：「うちゅうのレインボーゆうえんち」橋本先絵さん(郡山市立薫小学校3年生)

佳 作：「虹色遊園地」笹川桃子さん(郡山市立薫小学校3年生)

学 校 賞：郡山市立行健第二小学校 (応募数14点)

<中学生の部>

優 秀 賞：「Carousel ～Merry-go-Freedom～」坂田真理佳さん(郡山市立郡山第二中学校2年生)

準優秀賞：「超園宇宙混沌絵巻」松本恵実さん(郡山市立郡山第二中学校2年生)

佳 作：「宇宙と仲間と遊園地」原田玲奈さん(郡山市立郡山第三中学校2年生)

学 校 賞：郡山市立郡山第三中学校(応募数23点)

<一般(高校生以上)の部>

優 秀 賞：「クリスタルワールドへようこそ」飯高浩子さん(いわき市・一般)

準優秀賞：「未来のゴーカート」長谷川勇さん(会津若松市・一般)

佳 作：「僕の夢見る遊園地」溝井光司さん(国際アート&デザイン専門学校1年生)

学 校 賞：国際アート&デザイン専門学校(応募数22点)



【大賞】名誉館長賞
「きつとある！宇宙にうかぶビッグ遊園地」



【準賞】スペースパーク賞
「ここがうわさのアミューズメントパーク」



【準賞】スペースパーク賞
「幻想観覧」

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催し、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<第2回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展>

- ☆展示期間 平成23年4月28日(土)～5月31日(火)
- ☆展示場所 23階ホワイエ

<第2回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

福島空港展

- ☆展示期間 平成23年6月28日(火)～7月31日(日)
- ☆展示場所 1階 イベントスペース
- ☆主催共催 福島空港ビル (株)

東京・三鷹展 (「科学キッズフェス！」会場にて開催)

- ☆展示期間 平成23年9月23日(金・祝)・24日(土)
- ☆展示場所 三鷹市芸術文化センター (東京都三鷹市)
- ☆主催共催 5市共同事業実行委員会
(三鷹市：委員長、武蔵野市、小金井市、国分寺市、国立市)
※ギャラリートークを開催。(詳細は次ページ)

横浜展

- ☆展示期間 平成23年12月10日(土)～平成24年2月5日(日)
- ☆展示場所 はまぎんこども宇宙科学館(神奈川県横浜市)
- ☆主催共催 はまぎんこども宇宙科学館
※ギャラリートークを開催。(詳細は次ページ)

日立展

- ☆展示期間 平成23年3月3日(土)～4月22日(日)
- ☆展示場所 日立シビックセンター科学館(茨城県日立市)
- ☆主催共催 日立シビックセンター科学館
※ギャラリートークを開催。(詳細は次ページ)

<第1回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

石川・根上展

- ☆展示期間 平成23年12月3日(土)～25日(日)
- ☆展示場所 根上学習センター(石川県能美市)
- ☆主催共催 根上学習センター



作品展



東京・三鷹展

<ふくしま 星・月の風景 ギャラリートーク>

- ☆開催日時 平成23年9月23日(金) 19時～21時
- ☆会場 三鷹市芸術文化センター
- ☆内容 写真展開催にあわせて、三鷹ネットワーク大学主催の「国立天文台企画サロン」において、「ふるさとのそらを思ふ～『ふくしま 星・月の風景』写真展に寄せて～」と題して、コンテストの審査員であり、福島県出身の国立天文台教授・渡部潤一氏と対談で、撮影法や作品の紹介を行った。

- ☆開催日時 平成24年1月21日(土) 14時～15時
- ☆会場 はまぎんこども宇宙科学館
- ☆内容 「星・月の風景」撮影法の紹介及び作品を前にしての撮影のポイントなどの紹介を行った。

- ☆開催日時 平成24年3月18日(土) 13時30分～14時30分、15時30分～16時30分
- ☆会場 日立シビックセンター科学館
- ☆内容 「星・月の風景」撮影法の紹介及び作品を前にしての撮影のポイントなどの紹介を行った。

(4) 参加型企画展

<開館10周年記念事業 スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」>

平面に描かれた絵なのに写真に撮ると立体的に見える不思議な絵画や、上下を逆さまにすると全く別の絵に変わる「逆さ絵」など、視覚と脳が判断するトリックアートの作品を展示した。

☆開催日時 平成23年4月29日(金)～平成23年5月8日(日)10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 3,473人



写真に撮ると立体的に見える絵画



上下逆さまにすると別の絵に見える逆さ絵

<開館10周年記念事業 鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」>

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマを活用したショーや鉄道模型の操作体験、工作コーナーなどを実施した。また開館10周年を記念して、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の企画展を開催した。

☆開催日時 平成23年10月8日(土)～16日(日)10時～17時

☆対象 展示ゾーン来館者

☆参加者数 9,949人

☆内容 ①「きかんしゃトーマスとなかまたち」企画展

(1)「レッツゴートーマス」

実際に乗車できる「きかんしゃトーマス」を設置し、乗車体験を行った。

(2)「ファサードトーマス」

会場入り口でお客様をお出迎えする車両を設置した。

(3)「車庫ふわふわ」

「きかんしゃトーマスとなかまたち」のエアランポリンを設置し、体験していただいた。

②鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。また、11:00、13:00、15:00、17:00からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

③鉄道模型操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行い多くの方に楽しんでいただいた。

④工作コーナー

ボランティアの方などの協力により、赤青フィルムを使った立体視メガネを作り新幹線や機関車の立体画像を見て楽しんでいただいた。

⑤ プラレールで遊ぼう

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。



きかんしゃトーマスとなかまたちの様子



鉄道模型操作体験の様子

<開館10周年記念事業 スペースパーク企画展「ドラえもんの科学みらい展」>

世代や国を越えて人々を魅了しつづけている「ドラえもん」。そこに登場するひみつ道具をテーマに、現在の科学技術はドラえもんの世界をどこまで実現できているのかを、体験型展示で紹介した。

会場では特殊素材を使用した透明マントや、物のさわりがこちを伝える展示、世界最小のヘリコプターなどの展示を行った。

☆開催日時 平成23年12月10日(土)～平成24年1月15日(日)10時～17時

☆開催場所 第1会場：市民ふれあいプラザ展示室、第2会場：多目的研修室

☆対象 主に幼児・小学生がいるファミリー層

☆参加者数 18,220人



透明マント体験コーナー(第1会場)の様子



おしゃべりロボット体験(第2会場)の様子

<スペースパーク企画展特別イベント ワークショップ「さわりがこち」を伝えよう!>

企画展で展示されている展示物の一部を制作した南澤氏を講師に迎え、さわる感覚(触覚)についての解説及びテクタイルツールキットを使って物のさわりがこちを他人に伝える実験を実施した。

☆開催日時 平成24年1月7日(土)14時～16時

☆講師 南澤孝太氏

(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)

☆開催場所 実験工房

☆対象 小学校4年生～一般

☆参加者数 20人

☆内容 スペースパーク企画展の一環として、展示物にちなんだ実験・工作を体験できるワークショップを開催した。ふだんあまり意識しないさわる感覚(触覚)について、目隠しをしていろいろな物をさわったり、講師の先生方が開発したテクタイルツールキットという道具を使って物のさわりがこちを他人に伝える実験を行った。



ワークショップ「さわりがこち」
を伝えよう!の様子

<ドラえもんがやってくる!>

ビッグアイ内でドラえもんの科学みらい展会場等にドラえもん(着ぐるみ)を登場させ、ビッグアイ入館者を対象に握手や記念撮影を実施した。

- ☆開催日時 平成23年12月10日(土)、11日(日)、18日(日)、25日(日)
※各日とも1日4回(10時30分～、12時～、13時30分～、15時～) 登場
- ☆開催場所 ビッグアイ1階(物販コーナー)、ビッグアイ6階(第1会場前)、ビッグアイ22階(第2会場入口前)
- ☆参加者数 各回合計約2,000人



ドラえもんがやってくる!の様子

ロボットで遊ボット!

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校との連携事業を開催した。

<ロボット展示・操作体験>

郡山北工業高校や清陵情報高校で製作したロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

- ☆開催日時 平成24年3月24日(土)～4月5日(木)10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン(20階 研修室)
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 3,735人



ロボット展示・操作体験の様子

<ロボット工作ワークショップ>

郡山北工業高校と清陵情報高校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

- ☆開催日時 平成24年3月24日(土)・25日(日)14時～16時
- ☆開催場所 展示ゾーン(20階 実験工房)
- ☆対象 小学校3年生～中学生の展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 36人(24日:17人、25日:19人)



ロボット工作ワークショップの様子

<スペースパーク春場所 ロボット相撲大会>

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

- ☆開催日時 平成24年3月31日(土)・4月1日(日)14時～15時
- ☆開催場所 展示ゾーン(20階 研修室)
- ☆対象 小中学生の展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 32人(各日16人)



スペースパーク春場所
ロボット相撲大会の様子

<発電の絆 ロボット競技大会>

発電ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

- ☆開催日時 平成24年4月1日(日)11時～12時
- ☆開催場所 展示ゾーン(20階 研修室)
- ☆対象 小中学生の展示ゾーン入館者
- ☆参加人数 24人



発電の絆 ロボット競技大会の様子

(5) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じて天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催した。

☆開催回数 7回(平成23年6月～平成24年2月)

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆クラブ員 20人

メニュー	開催日時	開催場所	参加者数
星座の世界	平成23年 6月11日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	17人
月と土星を見よう!	平成23年 7月 3日(日) 19時～20時30分	郡山市ふれあい科学館	17人
ロケットのしくみ	平成23年 9月11日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	16人
惑星のひみつ	平成23年10月22日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	10人
ミニ望遠鏡を作ろう	平成23年11月 5日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	13人
ミニ望遠鏡を使ってみよう	平成23年12月 3日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	17人
月と木星を見よう!	平成24年 2月 4日(土) 18時30分～20時	郡山市ふれあい科学館	14人



ロケット打ち上げの様子



ミニ望遠鏡を使ってみようの様子

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 7回(平成23年6月～平成24年2月)

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆クラブ員 50人(Aクラス：25人、Bクラス：25人)

メニュー	クラス	開催日時	参加者数
岩石探検	A	平成23年 6月11日(土)	23人
	B	平成23年 6月25日(土)	22人
空気の実験	A	平成23年 7月 9日(土)	25人
	B	平成23年 8月27日(日)	22人
塩の実験	A	平成23年 9月10日(土)	16人
	B	平成23年 9月24日(土)	19人
紙すきに挑戦してみよう	A	平成23年 11月12日(土)	19人
	B	平成23年 11月26日(土)	22人
ゴムの実験	A	平成23年 12月 3日(土)	21人
	B	平成23年 12月24日(土)	19人
色変わりで大実験!	A	平成24年 1月21日(土)	21人
	B	平成24年 1月28日(土)	18人
ろうそくの科学	A	平成24年 2月11日(土)	16人
	B	平成24年 2月25日(土)	19人



岩石探検の様子



紙すきに挑戦してみようの様子

科学情報クラブ

コンピュータを使い、写真加工、動画編集、ロボット製作などを、楽しみながら体系的に学ぶことのできるクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第1・第3土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回(平成23年6月～平成24年2月)

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆クラブ員 32人(Aクラス：16人、Bクラス：16人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
ペーパークラフトを作ろう	A	平成23年 6月 4日(土)	9人
	B	平成23年 6月 18日(土)	14人
オリジナルTシャツを作ろう	A	平成23年 7月 2日(土)	6人
	B	平成23年 7月 3日(日)	15人
ロボットを作ろう	A	平成23年 9月 3日(土)	7人
	B	平成23年 9月 17日(土)	8人
コンピュータミュージックを作ろう	A	平成23年 10月 22日(土)	6人
	B	平成23年 10月 29日(土)	10人
フォトスタンドを作ろう	A	平成23年 11月 5日(土)	5人
	B	平成23年 11月 19日(土)	11人
DVDを作ろう	A	平成23年 12月 3日(土)	7人
	B	平成23年 12月 17日(土)	11人
アルバムを作ろう	A	平成24年 2月 4日(土)	6人
	B	平成24年 2月 18日(土)	14人



オリジナルTシャツを作ろうの様子



アルバムを作ろうの様子

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に2期開催した。

第1期:「『星のソムリエ』になりませんか?～星の楽しみ方を知る～」

- ☆開催回数 8回(平成23年5月～9月)
- ☆対象 高校生以上一般
- ☆受講者数 30人(のべ参加人数:197人)

メニュー	開催日時	開催場所	参加者数
さあ、はじめよう ～星を楽しむ第一歩～	平成23年5月25日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	28人
星座を見つけよう	平成23年6月8日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	28人
望遠鏡のしくみ	平成23年6月15日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	27人
望遠鏡を使ってみよう	平成23年6月22日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	23人
宇宙はどんな世界	平成23年6月29日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	22人
星空の文化に親しむ	平成23年7月6日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	26人
星空案内の実際	平成23年8月31日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	23人
特別講座:講演会 及び認定証授与式	平成23年9月11日(日) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	20人

第2期:「宇宙と地球の歴史を知る」

☆開催回数 8回(平成23年10月～11月)

☆対象 高校生以上一般

☆受講者数 18人(のべ参加人数:69人)

メニュー	開催日時	開催場所	参加者数
宇宙の誕生	平成23年10月26日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	16人
めぐる宇宙のドラマ	平成23年11月2日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	18人
スーパーコンピュータで探る 太陽系と地球の誕生	平成23年11月9日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	18人
生命の誕生と地球の歩み	平成23年11月16日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	17人



天文カレッジの様子

4 その他の事業

星空案内人資格認定講座

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

- ☆開催期間 平成23年6月～平成24年3月
- ☆講座開催回数 27回(うち天文カレッジ内7回)
- ☆受講者総数 369人



講座の様子

<星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

- ☆開催日 平成23年9月11日(日)
- ☆対象 星空案内人(準案内人) 17人
- ☆内容 資格認定証授与
記念講演「星と暮らした人びと－東北地方の星の和名と星空案内への活用」
講師：北尾浩一氏(財団法人大阪科学振興協会中之島科学研究所研究員)



認定証授与式の様子

事業スタッフ調査研究

東日本大震災のため中止

天文調査研究

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成23年 5月21日	第1回金環日食シンポジウム (東京理科大学)	2012年5月の金環日食に関する情報収集
平成23年 6月1日～3日	日本プラネタリウム協議会全国プラネタリウム大会 (ラフォーレ琵琶湖 デジタルスタードームほたる)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査並びに新投映システムの調査及び事例発表
平成23年 6月12日	はやぶさ地球帰還1周年記念講演会 (三輪田学園高等学校講堂)	はやぶさカプセル展示に関する調査研究
平成23年 9月19日～22日	日本天文学会秋季年会 (鹿児島大学)	天文学最新情報及び天文教育の情報収集
平成23年 10月29日	第2回金環日食シンポジウム (日本科学未来館)	2012年5月の金環日食に関する情報収集
平成23年 11月7日～8日	公開天文台ネットワーク第2回総会及び 第2回研修会 (平塚市博物館)	天文教育で使用するデジタルコンテンツの加工法及び教材製作に関する研修

平成23年 11月6日～8日	最新の天文学の普及をめざすワークショップ (国立天文台)	最新の天文学の普及に関する情報収集及び調査研究
平成23年 11月28日～30日	日本ジャイアントスクリーン協会 フィルムフェスティバル2011 (所沢航空発祥記念館、日本科学未来館)	大型映像番組に関する情報収集
平成24年 1月9日～10日	2012年金環日食限界線観測研究会 (明石市生涯学習センター)	2012年5月の金環日食に関する情報収集
平成24年 2月23日～26日	名古屋市科学館・みえこどもの城・とよた科学体験館	プラネタリウム新投映システム及びリニューアルオープンに関する調査
平成24年 3月10日～11日	2012年金環日食限界線観測研究会 (明石市立天文科学館)	2012年5月の金環日食に関する情報収集

展示調査研究

宇宙や科学に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、展示更新や新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成23年 5月9日	きかんしゃトーマスとなかまたち名古屋会場(名古屋市星ヶ丘三越)・JR東海リニア・鉄道館	鉄道フェスティバルに関する情報収集
平成23年 6月27日	平成23年度全国科学館連携協議会総会 (日本科学未来館)	全国の科学館に関する情報収集
平成23年 10月20日 ～21日	平成23年度第1回全国科学館連携協議会東北ブロック会議(福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館)	東北地域の科学館に関する情報収集、ワークショップに関する事例発表及び調査
平成23年 11月19日 ～20日	サイエンスアゴラ2011 (日本科学未来館・産業技術総合研究所臨海副都心センター・東京都立産業技術研究センター)	ワークショップなどに関する情報収集
平成24年 1月22日 ～23日	平成23年度全国科学館連携協議会国内研修	東日本大震災後の活動について事例発表及び調査
平成24年 2月22日 ～24日	姫路科学館・名古屋市科学館視察 全国科学博物館協議会平成23年度第2回総会・第19回研究発表大会(名古屋市科学館)	全国の博物館に関する情報収集
平成24年 2月29日	平成23年度 第2回全国科学館連携協議会東北ブロック会議 (盛岡市子ども科学館)	東北の科学館に関する情報収集

情報調査研究

コンピュータ・映像コンテンツやロボットに関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関等との連携を強化し、新たな事業の企画立案や既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成23年11月9日	2011国際ロボット展(東京ビッグサイト)	ロボット更新に関する情報収集

情報発信

○ホームページ

季節ごとの星空、科学実験や工作の紹介、そして科学館におけるイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

更新回数：264回

○メールマガジン

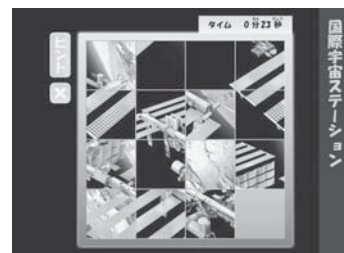
科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

配信回数：12回

配信先：792件(平成24年3月現在)

○ゲーム的教育プログラムの作成

ホームページ上で動作する「宇宙ステーション スライドパズルゲーム」をオリジナルで制作し、サイバーミュージアムの端末利用者やホームページ閲覧者が、楽しみながら国際宇宙ステーションについて学べることのできる環境を整えるとともに、科学情報の範囲拡大を図った。



ゲームの画面

○科学館ニュース

天文トピックス、科学実験アラカルト、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学館案内&募集コーナー等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、市町村教育委員会や学校等教育施設などに配付した。

・ A 4 カラー 8 ページ 39号～42号(年間4回)

・ 発行部数：10,000部/各号

○総合案内

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、3か月ごとに発行した。

・ A 5 カラー 8 ページ (4-6月分は震災対応でA 4 カラー 2 ページ)

・ 発行総数：165,000部 (A 5 カラー160,000部、A 4 カラー5,000部)

○学校利用の手引き

小学校や中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、冊子にまとめ、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図った。

・ A 4 白黒24ページ

・ 発行部数：4,000部

共催事業

○「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部についての募集から審査までを共催で実施し、入選作品の展示会を開催した。

- ☆テーマ さあ出発だ！宇宙への冒険旅行
- ☆部門 小学生部門、中学生部門
- ☆募集期間 平成23年5月1日(日)～7月31日(土)
- ☆応募作品 379点(小学生部門：358点、中学生部門：21点)
- ☆受賞作品 最優秀賞：各部門1点
優秀賞：各部門2点
佳作：小学生部門3点、中学生部門2点
- ☆審査員 木村景子氏(郡山市立守山小学校教諭)
富樫良重氏(郡山市立郡山第三中学校教諭)



表彰式後の記念撮影のようす

「表彰式」

- ☆開催日時 平成23年9月25日(日)11時～11時30分
- ☆開催場所 多目的研修室2

「受賞作品展」

各部門で受賞した作品展を22階展望ロビーに展示した

- ☆展示期間 平成23年9月25日(日)～10月10日(月)
- ☆展示場所 展望ロビー

※主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館

<星空環境ゼミ>

○環境パネル展

6月の環境月間及び12月の地球温暖化防止月間に合わせ、市生活環境課が行うパネル展に協力し、22階展望ロビーでパネル展を開催した。

☆開催期間 平成23年6月1日(水)～6月30日(木)・12月1日(木)～12月25日(日)

<科学技術へのいざない>

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

- ☆開催日時 平成23年9月23日(土)13時～17時
平成23年9月24日(日)10時～16時
- ☆対象 小学生～一般
- ☆参加者数 240名
- ☆内容 「電気の作り方を調べよう」や「電子部品を生け花して電子ホタルを作ろう！」など7種類の実験を紹介した。科学館では、「わくわく科学工作～光で遊ぼう～」を行った。



開催の様子

<コズミックカレッジ>

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催し小学1年生～小学4年生とその保護者を対象にしたキッズコースを開催した。

☆講師 佐野亮二氏(矢吹町立矢吹中学校教諭 宇宙教育リーダー)
園部 毅氏(福島大学附属中学校教諭 宇宙教育リーダー)
赤間祐市氏(郡山市立西田小学校教諭 宇宙教育リーダー)
鈴木典秋・水谷有宏(郡山市ふれあい科学館)
津田宜孝、中村雅憲、橋本 一氏 (財団法人大阪科学技術センター)

☆開催日時 平成23年11月6日(日)10時～17時

☆対象 小学校1年生～小学校4年生と保護者

☆定員 18組(32人)

☆内容 コズミックカレッジの宇宙教育リーダーの認定を取得した市内の小中学校の先生が講師となり、「国際宇宙ステーションでくらし」をテーマに、宇宙に関する実験や工作を実施した。1日かけ親子で宇宙を学んでいただいた。「宇宙のかんきょう」では、放射線の実験を行うため、財団法人大阪科学技術センターの協力を得て実施した。



ロケット打ち上げ実験の様子

<新潟大学工学部連携事業「放射線の正体を探る！」>

☆開催日時 平成24年2月18日(土)13時～16時

平成24年2月19日(日)10時～16時

☆対象 小学生～一般

☆参加者数 212名

☆内容 被災地支援で新潟大学工学部と連携し、目に見えない放射線について理解を深める実験を行った。



開催の様子

<避難所訪問(農業総合支援センター)>

☆開催日時 平成23年4月8日(金)14時～15時

☆場所 農業総合支援センター

☆参加者数 30名

☆内容 農業総合支援センターで避難生活をおくっている方に元気になっていただこうと、サイエンスショーや科学の工作教室を実施した。



開催の様子

<郡山市少年少女発明クラブ>

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。ロボットやトランジスタラジオなどの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第3日曜日(平成23年6月～平成24年2月)

10時～12時

☆開催回数 9回

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 黒森五郎氏、大越清美氏

☆内容 スチレンカッター作り、トランジスタラジオ作り、ロボット作りなど



クラブ活動の様子

博物館実習

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 平成23年9月7日(水)～14日(水)

※12日(月)を除く7日間

☆実習生 6人

東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科：1人

北里大学 獣医学部 動物資源科学科：1人

郡山女子大学短期大学部文化学科：4人



科学館実習の様子

実習日	実習内容
平成23年9月 7日(水)	開講式、施設見学、実習説明、番組見学
8日(木)	団体対応実習、接遇研修、展示実習
9日(金)	団体対応実習、展示実習
10日(土)	クラブ活動対応実習、展示実習発表
11日(日)	来館者対応実習、番組見学
13日(火)	宇宙劇場解説実習、ポスター制作
14日(水)	宇宙劇場課題発表、ポスター発表、博物館現場の話、閉講式

その他

<日本宇宙少年団こおりやま分団>

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を行っている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員がモデルロケット工作の指導をしたり、宇宙開発に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 平成23年6月～平成24年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館、逢瀬公民館など

☆活動内容 モデルロケット工作、天体観測、科学実験など

※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した

5 ボランティア関係事業

全体の概要

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称：S.P.V)」が発足し8年目となる本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を行おうとする心をひろめ、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



スペースパークボランティア大募集

案内サービス・鉄道ジオラマ・科学・天文の各ボランティアを広く市内外から募集した。

<募集スケジュール>

募集期間	登録前オリエンテーション	ボランティア研修
平成23年 3月 1日(火) ~4月 30日(土)	平成23年5月29日(日)	平成23年6月19日(日)

※登録前オリエンテーション

応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催

※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

<登録状況>

☆グループ別

	案内サービス	鉄道ジオラマ	科学	天文	合計
前年度からの登録更新更者	19人	11人	31人	40人	101人
平成23年度登録者	3人	1人	4人	6人	14人
合計	22人	12人	35人	46人	115人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	48人	53人	58人	40人	3人	86人	13人	2人
平成23年度登録者	9人	5人	6人	4人	4人	12人	2人	0人
合 計	57人	58人	64人	44人	7人	98人	15人	2人

☆年代別

年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人 数	4人	22人	7人	13人	24人	26人	18人	1人

ボランティア活動

<ボランティア活動>

○案内サービスボランティア

☆活動日時 平日：午前の部(9時30分～13時)

土曜・日曜・祝日：午前の部(9時30分～13時)、午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助

☆延べ活動時間/人数 951時間/310人

○鉄道ジオラマボランティア

☆活動日時 平日：午前の部(9時30分～13時)

土曜・日曜・祝日：午前の部(9時30分～13時)、午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史説明

☆延べ活動時間/人数 425時間/181人

○科学ボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部(9時30分～13時)

午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間/人数 994時間/284人

○天文ボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間/人数 556時間/154人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民のみなさまと共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内におけるさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

事業名	開催日時	開催場所	参加人数	内 容
避難所慰問	平成23年 5月 3日(火) 13時30分～15時	ビックバレット ふくしま	30人	紙芝居 昔遊び
まちなかの日 「親子で楽しむペーパークラフト はやぶさを作ろう」	平成23年 7月 3日(日) 10時30分～15時	まざっせプラザ	約100人	ペーパー クラフト
大成なかよしクラブ 工作教室	平成23年 9月 3日(土) 10時～12時	大成地域公民館	22人	科学工作
桃見台小学校第2学年 親子活動	平成23年 9月 6日(火) 10時30分～11時30分	桃見台小学校 体育館	約100人	科学工作
安積公民館 工作教室	平成23年 11月 5日(土) 10時～12時	安積公民館 安積分室	12人	科学工作
なかまち ウインターフェスティバル	平成23年 11月 6日(日) 10時～16時	うすい通り	—	科学工作 紙芝居
秋のこどもまつり	平成23年 11月12日(土)・13日(日) 10時～15時	郡山市こども総合 支援センター(ニコ ニコこども館)	—	科学工作
西っ子クラブサイエンス 教室	平成23年 11月12日(土) 9時30分～11時30分	富田西地域公民館	60人	科学工作
こおりやま保育所 保護者会ネットワーク 平成24年もちつき大会	平成24年 1月29日(日)	中田公民館 下枝分館	約80名	紙芝居 昔遊び 科学工作
出あいふれあいこども館 親子体験交流事業	平成24年 2月11日(土) 11時～12時	郡山市こども総合 支援センター(ニコ ニコこども館)	10人	科学工作

自主企画イベント

<天文ボランティアの天体写真展「宙(そら)の記録展」巡回展>

開催期間	開催場所
平成24年 1月 5日(木)～1月27日(金)	東邦銀行本店ロビー(福島市)
平成24年 2月13日(月)～3月 2日(金)	東邦銀行郡山支店ロビー(郡山市)
平成24年 3月 7日(木)～4月 6日(金)	東邦銀行郡山南支店ロビー(郡山市)

館事業サポート活動

<サイエンスフェスティバル(ゴールデンウィーク)>

○科学ボランティア

☆開催日 平成23年 4月29日(金)～5月8日(日)

☆メニュー こいのぼり、バランストンボ

<サイエンスフェスティバル パート1(夏休み)>

○科学ボランティア

☆開催日 平成23年 7月16日(土)～18日(月)

☆メニュー ブーブー笛

<サイエンスフェスティバル パート2(夏休み)>

○科学ボランティア

☆開催日 平成23年8月12日(金)~16日(月)

☆メニュー ブーブー笛

<鉄道フェスティバル>

☆開催日 平成23年10月8日(土)~16日(日)

○鉄道ジオラマボランティア

☆内容 鉄道ジオラマショーの解説

○科学ボランティア

☆内容 3Dメガネの工作指導

○案内サービスボランティア

☆内容 来館者への案内

館事業における天体観望会等

<駅前観望会>

☆開催回数 4回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場

☆内容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<星の宅配便>

☆開催回数 1回

☆開催場所 西田公民館

☆内容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

研修等

<科学ボランティア研修>

「第6回科学ボランティアツアー(自主研修)」

☆開催日 平成23年7月10日(日)

☆開催場所 ムシテックワールド

☆参加者数 10人

「第7回科学ボランティアツアー(自主研修)」

☆開催日 平成23年11月27日(日)

☆開催場所 アクアマリンふくしま

☆参加者数 6人

<科学ボランティア自主勉強会>

「第3回科学ボランティア勉強会」

☆開催日 平成23年9月11日(日)

☆テーマ わかりやすい水環境、折り紙教室

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 14人

「第4回科学ボランティア勉強会」

- ☆開催日 平成24年1月22日(日)
- ☆テーマ 改めて知るノーベル賞、ノロを中心に～、折り紙教室
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 14人

スペースパークボランティア平成23年度総会

平成23年度総会を開催。平成23年度活動報告後、役員選出案、そして平成24年度活動計画等を審議し、満場一致で承認された。総会終了後には文化財調査研究センター長 柳田和久氏を講師として、講演会「郡山宿の形成と発展」を催した。

- ☆開催日 平成24年3月4日(日)
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 104人(委任状含む。)



総会の様子



講演会の様子

S.P.V広報活動

科学館のホームページに掲載している、S.P.Vの活動紹介ホームページ更新及び広報誌「S.P.Vつうしん」を年4回発行した。



S.P.Vつうしん第29号



S.P.Vつうしん第30号



S.P.Vつうしん第31号



S.P.Vつうしん第32号

Ⅲ 平成23年度広報・サービス活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民並びに県民に告知するため、テレビスポットを中心とした広報戦略活動を展開した。

① テレビスポット

☆期間等 平成23年7月9日～8月15日 福島中央テレビ・福島放送、15秒スポット計60本

☆内容 特別番組「Bugs!～昆虫たちの不思議な物語～」

☆期間等 平成23年11月5日～平成24年1月14日 福島放送、15秒スポット計58本

☆内容 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」

☆期間等 平成24年3月11日～25日 福島放送、15秒スポット計12本

☆内容 春休み特別企画「ロボットで遊ボット！」

② 新聞広告

☆掲載日等 平成23年6月7日・30日 福島民友

☆内容 はやぶさ帰還カプセル特別展示

☆掲載日等 平成23年6月2日・30日 福島民報

☆内容 はやぶさ帰還カプセル特別展示

☆掲載日等 平成24年1月7日 朝日新聞

☆内容 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」
冬休み特別番組「シーレックス」

(2) 広報紙及び雑誌・看板等

市の広報紙「広報こおりやま」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

また、ビルの外壁及び入口へ看板や懸垂幕の設置、駅構内へのイベントポスターの掲示など行った。

そのほか、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を、特に幼稚園・保育所や地域公民館に多く訪問し、幼児とその保護者やそれぞれの地域に広くPRし、来館者の底辺の拡大を図るため営業活動を積極的に展開した。

営 業 先	内 容
隣接市町村幼稚園・保育所	公・私立幼稚園(117)
県内小・中学校	小学校(509校)、中学校(237校)
県内養護学校・大学	県内盲・聾・養護学校(23)、県内大学(11)
県外小・中・高校・専門学校	小学校(97)、中学校(42)、高校(6) 専門学校(5)
県内教育事務所 市町村教育委員会	県内教育事務所(7)、市町村教育委員会(61)
県内外市町村公民館	市内(40)、県内(135)、県外(68)
市内児童クラブ	公設公営(27)、民設民営(3)
県内児童クラブ	学校の敷地外に活動場所をもつクラブ(90)
ホテル・商店・病院など	ホテル(18)、観光業者(14)、商店(30)
病院(5)、その他(39)	公設公営(27)、民設民営(3)
青少年研修施設	自然の家等(10)
県内外観光施設	田村方面(3)、会津(4)、二本松方面(18) 相双方面(2)、市内(24)、県外(12) 道の駅(県内:16、県外:79)
県内外旅行代理店	県内(19)、県外(34)
県内外観光施設	田村方面(3)、会津(4)、二本松方面(18) 相双方面(2)、市内(24)、県外(12) 道の駅(県内:16、県外:79)
県内外旅行代理店	県内(19)、県外(34)

Ⅳ 郡山市ふれあい科学館 平成24年度事業活動計画

1 市民鑑賞型事業

(1) 宇宙劇場番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。(平成24年4月27日まで改修のため休館)

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		※19時
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	※19時

※金曜日のみ投映 ※5月までと夏休み期間は別途番組開始時刻を定め実施

リニューアル記念 プラネタリウム番組

新しくなった宇宙劇場の投映装置を効果的に活用し、子どもから大人までの幅広い年代層の方が、美しい星空や宇宙の迫力ある姿を楽しむとともに、5月21日の金環日食を紹介するプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：投映期間中の宇宙劇場番組投映すべて(平日午前中で学校団体の予約がある場合を除く)

番組タイトル	投映期間
リングの太陽	平成24年 4月28日(土)～ 5月31日(木)

プラネタリウム 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を 2か月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目

(学校休業期間は時季により異なる)

番組タイトル	投映期間
郡山から宇宙の果てへ ～壮大なる宇宙の旅～	平成24年 6月 1日(金)～ 8月31日(金)
宇宙誕生 ～ビッグバン～	平成24年 9月 1日(土)～10月31日(水)
100万年後の星空 ～星座が変わる?～	平成24年11月 1日(木)～12月30日(日)
オーロラの国へ	平成25年 1月 2日(火)～ 2月28日(木)
南天星座めぐり	平成25年 3月 1日(金)～ 3月31日(日)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人と一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間(時季により異なる)

番組タイトル	投映期間
たなばたの星のおはなし	平成24年 6月 2日(土)～ 8月26日(日)
月をみてみよう ～お月見のおはなし～	平成24年 9月 1日(土)～10月28日(日)
秋の星ものがたり	平成24年11月 3日(土)～11月25日(日)
星空からのプレゼント	平成24年12月 1日(土)～平成25年1月27日(日)
楽しい冬の星めぐり	平成25年 2月 2日(土)～ 3月31日(日)

学習番組 ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間:学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	放映期間
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日(第1・2回目)
日なたと日かげ(小学校中学年以上)	
月と星の動き(小学校中学年以上)	
月と太陽(小学校高学年以上)	
地球と宇宙(中学生向け)	
宇宙のお話(中学生以上)	

幼児番組 ※学習番組枠で希望により放映(幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間:学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間
たのしい星空ようこそ	平成24年 5月
たなばたの星まつり	平成24年 6月～7月
おつきみと星めぐり	平成24年 8月～9月
秋の星ものがたり	平成24年10月～11月
楽しい冬の星めぐり	平成24年12月～平成25年3月

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた科学性の高い番組を夏休み期間及び冬期間に放映する。

上映期間:夏休み期間(7/21～8/26)の第1・3・5回目、冬休み期間(12月～2月)の第3回目

番組タイトル	放映期間
月の魔法とサンゴの海	平成24年 7月21日(土)～8月26日(日)
未定	平成24年12月～平成25年2月

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季に応じた番組を提供する。

番組タイトル	放映日
リングの太陽～金環日食直前情報～	平成24年 5月12日(土)・19日(土)
夏の星空 一晩めぐり(仮題)	平成24年 7月14日(土)
イブニングアワー お盆スペシャル(仮題)	平成24年 8月11日(土)～15日(水)
中秋の名月 イブニングアワー(仮題)	平成24年 9月30日(日)
秋の星空 一晩めぐり(仮題)	平成24年10月 6日(土)
クリスマス イブニングアワー(仮題)	平成24年12月24日(月)
冬の星空 一晩めぐり(仮題)	平成25年 1月12日(土)

(2)音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

2か月ごとにテーマを設定し、様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映する。

☆開催日時 平日(祝日・学校休業期間等を除く。)15時30分～16時15分
毎週金曜日19時～19時45分
土曜・日曜・祝日17時～17時45分

☆観覧券 当日発売

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

宇宙劇場コンサート

季節にあわせて、宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサート等を開催する。

<サマーコンサート>

☆開催日 平成24年7月7日(土)

☆演奏者 ZABADAK(予定)

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

<ウインターコンサート>

☆開催日 平成24年12月予定

☆演奏者 未定

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

<スプリングコンサート>

☆開催日 平成25年3月予定

☆演奏者 未定

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

(3)鑑賞型企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた内容などの写真や解説文を交えたパネル展を開催する。

番組タイトル	投映期間(予定)
太陽・月・地球 ～3つの天体が織りなす世界～	平成24年 4月28日(土)～ 6月30日(土)
惑星めぐり(予定)	平成24年 7月 1日(日)～ 8月31日(金)
銀河の世界(予定)	平成24年 9月 1日(土)～10月31日(水)
ハッブル宇宙望遠鏡が見た宇宙(予定)	平成24年11月 1日(木)～平成25年1月31日(木)
オーロラの夜(予定)	平成25年 2月 1日(金)～ 3月31日(日)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の受賞作品を市内小中学校に貸出し、宇宙や科学が身近なものとなるよう巡回展を行う。

☆開催期間 平成24年4月～平成25年3月(学校休業期間を除く。)

☆対象 市内小中学校

2 市民参加型事業

(1)科学普及事業

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。(約20分間)

☆開催時間 平日 10時30分～、13時～

土曜・日曜・祝日・小中学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

☆内容 酸アルカリ大実験～色水で遊ぼう！～(ゴールデンウィークに実施)

空気ので大実験、ぶくぶく大実験～泡のチカラ♪～、

虹色大実験～カラフルレインボー～、静電気で大実験

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

☆開催時間 土曜日 13時30分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 パソコン工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 先着16組(1組2人)

☆内容 名前シール作り、クリアファイル作り、3Dカード作り、ストラップ作り、ペン立て作り、下じき作り、パズル作り、カレンダー作り、フォトフレーム作り、シール作り、名刺作り

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料などを使用して科学工作教室を開催する。(約40分間)

☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 実験工房、多目的研修室

☆対象 象 展示ゾーン入館者

☆定員 員 先着30人

☆内容 容 飛ばして遊ぼう、紫外線で遊ぼう、力で遊ぼう、音で遊ぼう、鏡で遊ぼう、空気で遊ぼう、はかって遊ぼう、光で遊ぼう、バランスで遊ぼう、乾燥で遊ぼう、熱で遊ぼう

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。(約20分間)

☆開催日時 毎日 11時30分～、14時30分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 象 展示ゾーン入館者

☆定員 員 1回30人程度

☆内容 容 水ってふしぎ!、まさつで実験しよう!、みえない空気のみしぎ!など

わくわくカウンター

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日時 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等に開催)

☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター

☆対象 象 展示ゾーン入館者

☆内容 容 科学工作

科学に関する情報提供(科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示)

宇宙メダカの展示

ロボットショー

パソコン等でロボットを操作し、あいさつやダンスなどの様々なパフォーマンスショーを開催する。また、自由に触れたり声をかけたりして、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けて楽しむとともに、今後のロボット技術への興味関心を高める。(約15分間)

<ロボットショー>

☆開催日時 土曜・日曜・祝日 12時30分～、15時30分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 象 展示ゾーン入館者

☆定員 員 30人程度

<ロボット展示>

☆展示場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<ロボット貸出>

☆開催期間 平成24年4月～平成25年3月(学校休業期間を除く。)

☆対象 象 市内小中学校

サイエンス教室(団体向け)

学校や子ども会、高齢者等の団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」、たのしい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」、パソコンを使った簡単な紙工作などができる「パソコン工房の利用」を開催する。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ

(ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。)

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、パソコン工房

☆対象 小中高校等の学校、子ども会など

☆定員 ワークショップ、サイエンスショー各50人程度

パソコン工房利用の場合16人以下

☆内容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、ビー玉ごま、ミニブーメラン、バネ電話、ガーガーCar、あったカイロ、不思議な箱などの40メニュー)

サイエンスショー(パワフル空気の色、超低温の世界)

パソコン工房の利用(写真入りカード、星座早見盤、調べまとめ学習)

スペースツアー

<スペースツアー>

来館者に展示物の理解を深めてもらうため、テーマに沿って展示物を解説しながら展示ゾーン内を巡るガイドツアーを実施する。(約15分間)

☆開催日時 土曜・日曜・祝日 15時～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン各コーナー

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 15人

<たんけんシート>

展示物についてのクイズをワークシートとして用意し、参加者はクイズに答えながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることのできるワークシートを設置する。

☆開催日時 随時(開館日10時～17時40分)

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催日時 ①ゴールデンウィーク期間：平成24年4月28日(土)～5月6日(日)

②夏休み期間：パート1 平成24年7月21日(土)～22日(日)

パート2 平成24年8月11日(土)～16日(火)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア
市内外の他機関職員など

☆内容 スライム、ブンブンごま、カラフル化石、風船ロケットほか

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使い、明治・昭和初期・現代の郡山を再現し、近代郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 11時～、15時～、17時～(約20分間)

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時(ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 随時

☆料 金 200円(約5分間)

<ウォールミュージアム>

☆展示時間 随時(開館日10時～17時30分)

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の10時～17時

(2)講演会等

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門講師を招き開催する。

<第21回星の講演会>

☆テーマ 「日食を楽しもう」

☆開催時期 平成24年5月12日(土)

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220人

☆講師 尾久土正己氏(和歌山大学)

☆内容 5月21日の日食について、日食の概要や安全な見方の紹介のほか、宇宙劇場の全天ビデオシステムなどを活用して過去の日食の映像などを交え、日食の魅力について紹介していただく。

<第22回星の講演会>

☆テーマ 「宇宙旅行時代がやってくる!？」

☆開催時期 平成24年10月27日(土)

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220人

☆講師 大貫美鈴氏(宇宙ビジネスコンサルタント)

☆内容 近年大きな進歩をとげ、実現性が高まりつつある民間人向けの宇宙旅行のサービスについて、海外の最新情報などを交えて紹介していただく。

<第23回星の講演会>

☆テーマ 「オーロラの魅力（仮）」

☆開催時期 平成25年2月ごろ

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220人

☆講師 古賀祐三氏(サイエンスプロデューサー)

☆内容 アラスカからの中継によるオーロラの映像などを交え、オーロラの魅力について紹介していただく。

天体観望会

一般に大きな話題となりそうな天文現象を対象に、天体に関する興味関心を深めるため、観望する天体に関する講座と観望会を開催する。また、市内地域の指導者的な人を対象とした講座を開催し、受講者が天体観望会を地域で開催する場合には天体望遠鏡を貸し出すことで、天体観望会のすそ野を広げ、科学普及を図る。

<金環日食観望会>

駅前において、太陽が欠けていき、リングのような環になる金環日食を観察する金環日食観望会を開催し、多くの方の宇宙への興味関心を高める。

☆開催日時 平成24年5月21日 6時30分～9時

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場

☆対象 一般(当日自由参加)

<天体望遠鏡貸出>

☆開催期間 平成24年4月～平成25年3月

☆対象 天体望遠鏡操作講習修了者

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間でも気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める、自由参加形式の天体観望会を開催する。

☆開催時期 平成24年4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、平成25年3月予定

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場

☆対象 一般(当日自由参加)

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

☆開催時期 平成24年6月、7月、9月、10月、11月、12月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場中央広場など

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

☆概要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 4回程度

☆連携先 福島大学など

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日14時以降(月1回程度)(ゴールデンウィーク、学校休業期間等を除く。)

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20人以上150人程度の団体

(3)作品募集

第12回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図る。

☆部門 動画部門・静止画部門

☆募集締切 平成24年9月30日(日)

☆展示期間 平成24年11月10日(土)～平成25年1月14日(月)

☆展示場所 展望ロビー

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真の巡回展を開催する。多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

<「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等

(4)参加型企画展

鉄道の日鉄道フェスティバル

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料・グッズを活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 平成24年10月6日(土)～8日(月)

☆開催場所 展望ロビー及び研修ゾーン

☆対象 一般来館者

☆内容 鉄道ジオラマショースペシャル、鉄道模型操作体験、鉄道資料展示など

スペースパーク企画展

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、科学の不思議、楽しさを市民に体験していただく。

☆展示期間 平成23年12月1日(土)～平成24年1月14日(月)

☆展示場所 20階 多目的研修室

☆対象 一般来館者

ロボット展

福島県立清陵情報高等学校や福島県立郡山北工業高等学校などロボット製作等に取り組んでいる学校と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。また、操作体験ロボットを使った競技大会や工作体験教室も開催する。

☆開催日時 平成25年3月23日(土)～4月7日(日) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 ・ロボット展示・操作体験
大会やコンテストに出場したロボットの展示や操作体験を行う。
・ロボット工作
簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。
・ロボット大会
展示している操作体験ロボットを使っての競技大会を行う。

(5)クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じ、天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第1土曜日 9時45分～11時45分

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 7回(平成24年6月～平成25年2月)

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆募集人数 30人

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 7回(平成24年6月～平成25年2月)

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆募集人数 25人×2クラス(合計50人)

科学情報クラブ

科学に関することを、パソコンを使って総合的に学習する。色々なソフトウェアを利用して、科学的な興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第1・3土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回(平成24年6月～平成25年2月)

☆対象 小学校3年生～中学校3年生

☆募集人数 16人×2クラス(合計32人)

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 12回(平成24年6月～平成25年2月)
- ☆対象 一般(高校生以上)
- ☆募集人数 30人

3 その他の事業

星空案内人資格認定制度

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、31回(通年)
- ☆対象 一般(高校生以上)

天文調査研究

プラネタリウム番組等の制作や運営などのほか、様々な事業を企画立案するうえで必要となる情報を収集し、調査研究を行う。

事業スタッフ調査研究

先進的な運営を行っている科学館等を調査研究し、当科学館のプラネタリウムやサイエンスショーの運営等の改善を図る。

展示調査研究

宇宙や科学に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、展示更新、新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行う。

情報調査研究

コンピュータやロボットなどに関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関等との連携を強化し、新たな事業の企画立案や既存事業の充実を図るための調査研究を行う。

情報発信・広報

インターネットなどの様々なメディアを使用し、科学館で開催するイベントや科学に関する様々な情報を発信する。

- ・科学館ニュース季刊誌発行
- ・ホームページ更新
- ・メールマガジン配信
- ・利用案内チラシ発行
- ・学校利用の手引き発行
- ・テレビ広告
- ・ラジオ広告
- ・新聞広告など

共催事業

<「宇宙の日記念」全国小・中学生作文絵画コンテスト>

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部について共催し募集から審査までを実施する。また、入選作品等の展示会を開催する。

☆部門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成24年4月～7月

☆受賞作品展示期間 平成24年9月～10月(予定)

☆展示場所 展望ロビー

※主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、郡山市ふれあい科学館

<こどもまつり>

☆開催日 平成24年5月5日

☆開催場所 開成山公園・にこにここども館

※主催：こどもまつり実行委員会

<星空環境ゼミ>

環境省などが主催する「全国星空継続観察」に参加し、参加者への普及活動及び観察結果報告を行う。

○環境パネル展

☆開催時期 平成24年6月

☆開催場所 展望ロビー

※主催：郡山市生活環境課

○全国星空継続観察

☆開催時期 平成24年8月、平成25年1月

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場 ※屋外活動の実施状況による

※主催：環境省、(財)日本環境協会

○星空環境に関する調査研究

☆開催時期 平成24年8月 ※屋外活動の実施状況による

<講師派遣>

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催回数 月1回程度

<コズミックカレッジ>

宇宙をテーマにした科学教育を通して、科学の楽しさや不思議に触れ、科学への関心や探究意欲を喚起し、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に行う科学教育プログラムであるコズミックカレッジを共催で開催する。

☆内容 キッズコース

☆開催時期 平成24年11月11日(日)

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学校1年生～4年生

☆参加人数 20組

※共催：独立行政法人宇宙航空研究開発機構

その他

<郡山市少年少女発明クラブ>

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 平成24年5月～平成25年2月 毎月第3日曜日(予定) 10時～12時

<日本宇宙少年団こおりやま分団>

宇宙及び科学への探究心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を行っている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

博物館実習

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための実習を行う。

☆開催期間 平成24年9月(7日間)

科学館支援グループ

小中高校大学の先生方から構成されるグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ参加するほか、理科教材製作等の企画を行う。

☆開催期間 通年

4 ボランティア関係事業

スペースパークボランティアの会会員募集

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

一 活動開始までの流れ一

登録前オリエンテーション ➡ 一般研修 ➡ 専門研修 ➡ 活動開始

スペースパークボランティアの会活動計画

<案内サービスグループ>

☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居及び総合案内
☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
団体オリエンテーション開催
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

<鉄道ジオラマグループ>

☆継続活動内容 鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史解説
☆発展活動内容 定例ジオラマショー解説補助及び前説

<科学グループ>

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実
出張活動の実施

<天文グループ>

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助
- ☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

<運営部会>

- ☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。
- ☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。
- ☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

V 予算・決算

1 平成23年度決算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	42,988	
指定管理料収入	274,055,577	郡山市ふれあい科学館指定管理収入
施設利用料金収入	22,955,840	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ利用料
入場料収入	10,885,500	「ドラえものの科学みらい展」入場料
販売収入	253,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
販売手数料収入	31,395	ガシャポン販売手数料
雑収入	241,115	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
雑収入	10,142,167	雇用保険料・勤労者互助会費個人負担分
合 計	318,607,582	

収入合計 318,607,582

支出

事業費(科学館施設管理)

科 目	金 額	説 明
給料手当	86,215,683	1 職員費 146,590,138
退職手当	0	
福利厚生費	20,538,029	2 各種業務委託 60,739,450
臨時雇賃金	39,836,426	
旅費交通費	328,200	3 光熱水費 19,680,522
通信運搬費	1,910,715	
消耗品費	3,999,803	4 施設管理費 22,282,464
修繕費	620,543	
印刷製本費	2,482,200	
賃借料	4,557,750	
諸謝金	200,000	
手数料	56,060	
租税公課	7,116,404	
負担金支出	36,488	
委託料	60,739,450	
燃料費	117,861	
光熱水費	19,680,522	
損害保険料	856,440	
食糧費	0	
合 計	249,292,574	

事業費(科学館主催事業)

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	1,486,564	1 市民鑑賞型事業
旅費交通費	1,038,070	(1) 宇宙劇場番組投影
通信運搬費	1,519,500	(2) 音楽コンサート
消耗品費	10,088,690	(3) 鑑賞型企画
印刷製本費	6,498,288	2 市民参加型事業
賃借料	15,434,752	(1) 科学等普及
諸謝金	525,900	(2) 講演会等
租税公課	5,000	(3) 作品募集
負担金支出	184,679	(4) 参加型企画展
委託料	27,319,412	(5) クラブ活動
広告宣伝費	4,842,180	3 その他
損害保険料	113,510	(1) 調査研究事業
食糧費	258,463	(2) 情報発信事業
		(3) 広報事業
		(4) 科学館ボランティア事業
		(5) 共催事業
		(6) 記念事業「ドラえものの科学みらい展」等
		(7) その他
合 計	69,315,008	

支出合計 318,607,582

収支差額 0

参考

使用料名	金額	説明
ふれあい科学館観覧料	21,821,940	宇宙劇場56,689人 常設展示89,070人 ワイヤード169人
ふれあい科学館使用料	1,133,900	ビュースコープ5,094回 鉄道模型運転装置3,118回
合計	22,955,840	

2 平成24年度予算

収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	27,000	基本財産利息収入
指定管理収入	304,554,000	郡山市ふれあい科学館指定管理収入
施設利用料金収入	27,540,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ利用料
雑収入	267,000	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
雑収入	817,000	雇用保険料・勤労者互助会費個人負担分
合計	333,205,000	

収入合計 333,205,000

支出

事業費(科学館施設管理)

科目	金額	説明
給料手当	97,236,000	1 職員費 160,476,000
福利厚生費	23,230,000	
臨時雇賃金	40,010,000	2 各種業務委託 64,447,000
旅費交通費	733,000	
通信運搬費	1,782,000	3 光熱水費 23,222,000
消耗品費	2,211,000	
修繕費	2,154,000	4 施設管理費 25,972,000
印刷製本費	2,906,000	
賃借料	6,010,000	
諸謝金	236,000	
手数料	70,000	
租税公課	8,582,000	
負担金支出	75,000	
委託費	64,447,000	
燃料費	282,000	
光熱水費	23,222,000	
損害保険料	892,000	
食糧費	39,000	
合計	274,117,000	

事業費(科学館主催事業)

科目	金額	説明
臨時雇賃金	276,000	1 市民鑑賞型事業
旅費交通費	1,164,000	(1) 宇宙劇場番組投影
通信運搬費	399,000	(2) 音楽コンサート
消耗品費	8,233,000	(3) 鑑賞型企画
印刷製本費	5,781,000	2 市民参加型事業
賃借料	14,297,000	(1) 科学等普及
諸謝金	709,000	(2) 講演会等
手数料	11,000	(3) 作品募集
租税公課	37,000	(4) 参加型企画展
負担金支出	14,000	(5) クラブ活動
委託費	22,526,000	3 その他
広告宣伝費	5,351,000	(1) 調査研究事業
損害保険料	119,000	(2) 情報発信事業
食糧費	171,000	(3) 広報事業
		(4) 科学館ボランティア事業
		(5) 共催事業
		(6) 特別企画
		(7) その他
合計	59,088,000	

支出合計 333,205,000

Ⅵ 施設利用状況

1 月別入館者

平成20年4月～平成21年3月(平成20年度)

(単位:人)

月 別	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者集計
平成23年 4月	1,686	349	587	936
5月	15,203	3,222	4,299	7,521
6月	13,192	3,644	3,805	7,449
7月	35,496	13,130	10,809	23,939
8月	29,937	10,011	12,260	22,271
9月	17,240	6,083	6,217	12,300
10月	25,411	6,095	17,730	23,825
11月	11,769	4,436	4,445	8,881
12月	21,017	5,563	10,291	15,854
平成24年 1月	19,714	4,156	11,978	16,134
2月	16,388	0	2,250	2,250
3月	28,330	0	4,399	4,399
合 計	235,383	56,689	89,070	145,759

<参考>

(単位:人)

年 別	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者集計
平成13年	361,887	67,640	68,698	136,338
平成14年	347,141	89,952	86,734	176,686
平成15年	305,314	79,136	78,487	157,623
平成16年	278,734	67,620	68,413	136,033
平成17年	257,694	69,388	63,546	132,934
平成18年	251,195	66,122	69,059	135,181
平成19年	267,202	71,209	75,619	146,828
平成20年	251,876	71,607	73,131	144,738
平成21年	246,237	74,607	72,371	146,978
平成22年	241,634	72,704	73,194	145,898
平成23年	235,383	56,689	89,070	145,759
合 計	3,044,297	786,674	818,322	1,604,996

2 施設別入館者

宇宙劇場

(単位:人)

月	平日					土・日・祝日					合 計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	0	0	0	0	0	2	349	35	0	0	2	349	13	0	0
5月	14	526	38	215	15	13	2,397	184	84	6	27	2,923	108	299	11
6月	18	641	36	1,809	101	8	1,171	146	23	3	26	1,812	70	1,832	70
7月	18	3,378	188	3,783	210	11	5,695	518	274	25	29	9,073	313	4,057	140
8月	22	6,124	278	873	40	8	2,832	354	182	23	30	8,956	299	1,055	35
9月	16	740	46	3,319	207	10	1,924	192	100	10	26	2,664	102	3,419	132
10月	15	567	38	1,940	129	11	3,555	323	33	3	26	4,122	159	1,973	76
11月	16	645	40	1,687	105	10	1,981	198	123	12	26	2,626	101	1,810	70
12月	17	1,959	115	604	36	9	2,792	279	208	21	26	4,751	176	812	30
1月	4	1,765	147	26	2	4	2,365	237	0	0	8	4,130	188	26	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	140	16,345	84	14,256	73	86	25,061	202	1,027	8	226	41,406	130	15,283	48

展示ゾーン

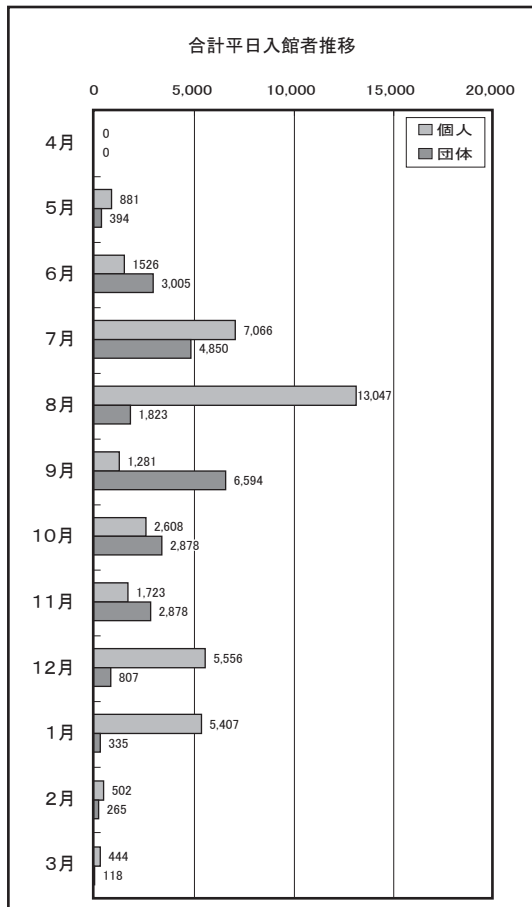
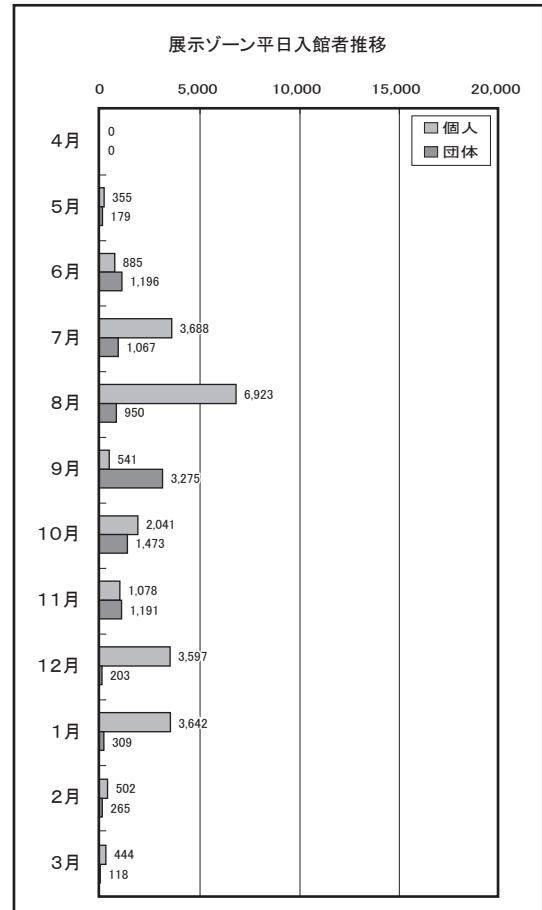
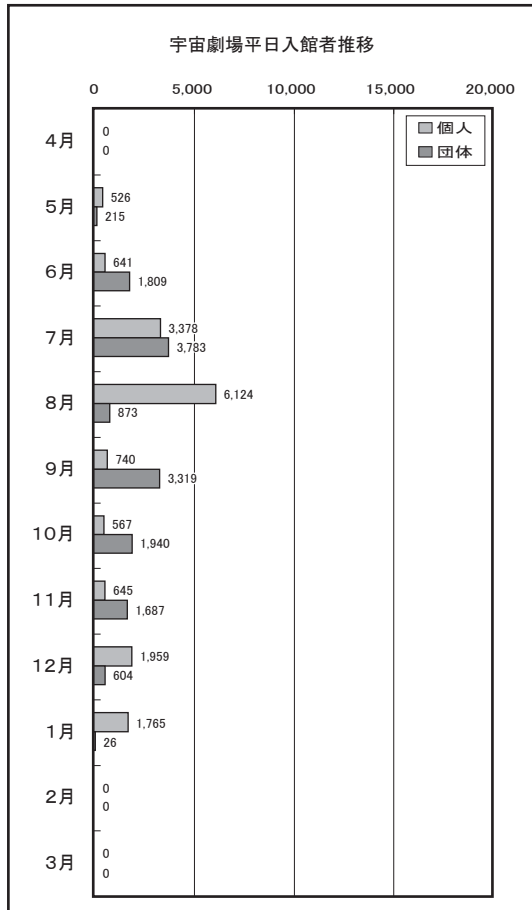
(単位:人)

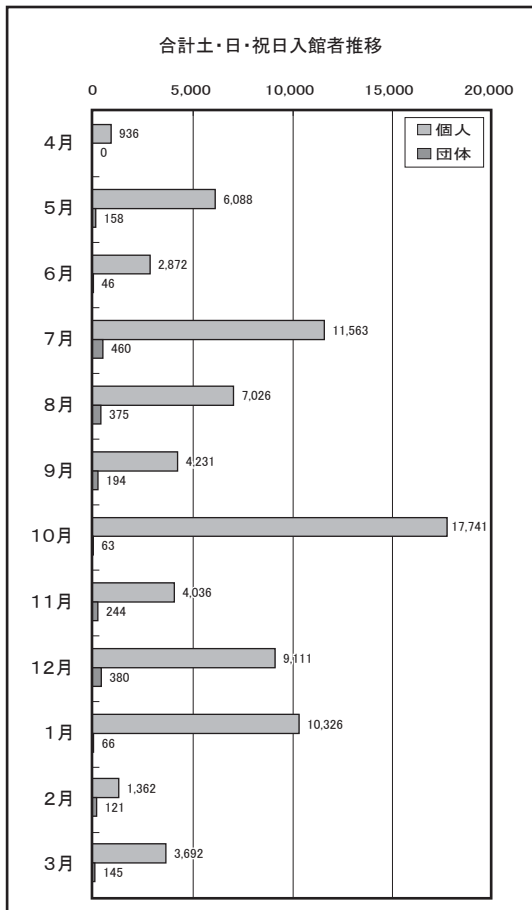
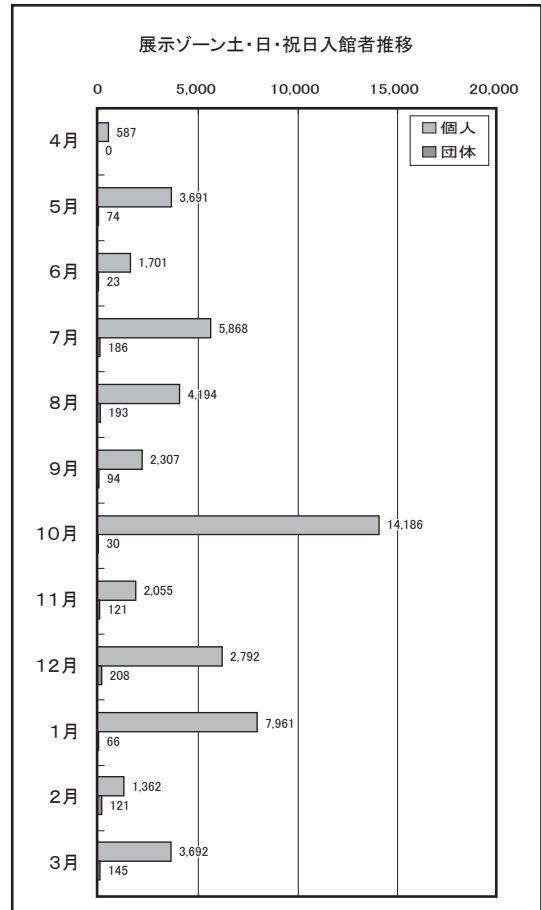
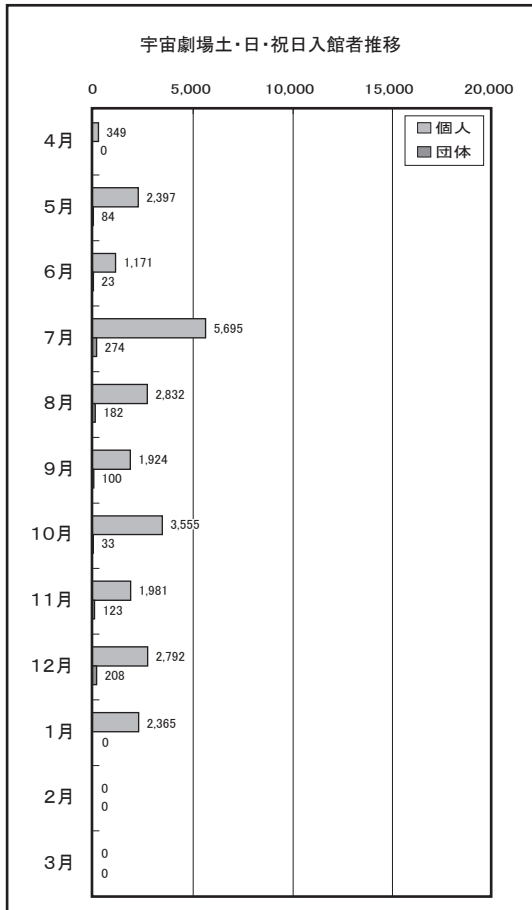
月	平日					土・日・祝日					合 計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	0	0	0	0	0	2	587	59	0	0	2	587	23	0	0
5月	14	355	25	179	13	13	3,691	284	74	6	27	4,046	150	253	9
6月	18	885	49	1,196	66	8	1,701	213	23	3	26	2,586	99	1,219	47
7月	18	3,688	205	1,067	59	11	5,868	533	186	17	29	9,556	330	1,253	43
8月	22	6,923	315	950	43	8	4,194	524	193	24	30	11,117	371	1,143	38
9月	16	541	34	3,275	205	10	2,307	231	94	9	26	2,848	110	3,369	130
10月	15	2,041	136	1,473	98	11	14,186	1,290	30	3	26	16,227	624	1,503	58
11月	16	1,078	67	1,191	74	10	2,055	206	121	12	26	3,133	121	1,312	50
12月	17	3,597	212	203	12	9	6,319	632	172	17	26	9,916	367	375	14
1月	12	3,642	304	309	26	10	7,961	796	66	7	22	11,603	527	375	17
2月	17	502	30	265	16	8	1,362	170	121	15	25	1,864	75	386	15
3月	18	444	34	118	9	10	3,692	246	145	10	28	4,136	148	263	9
合計	183	23,696	122	10,226	53	110	53,923	435	1,225	10	293	77,619	244	11,451	36

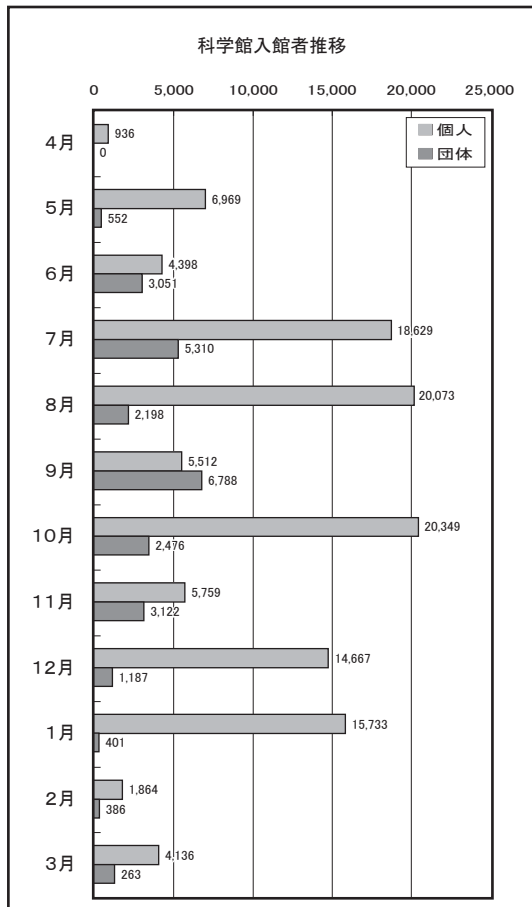
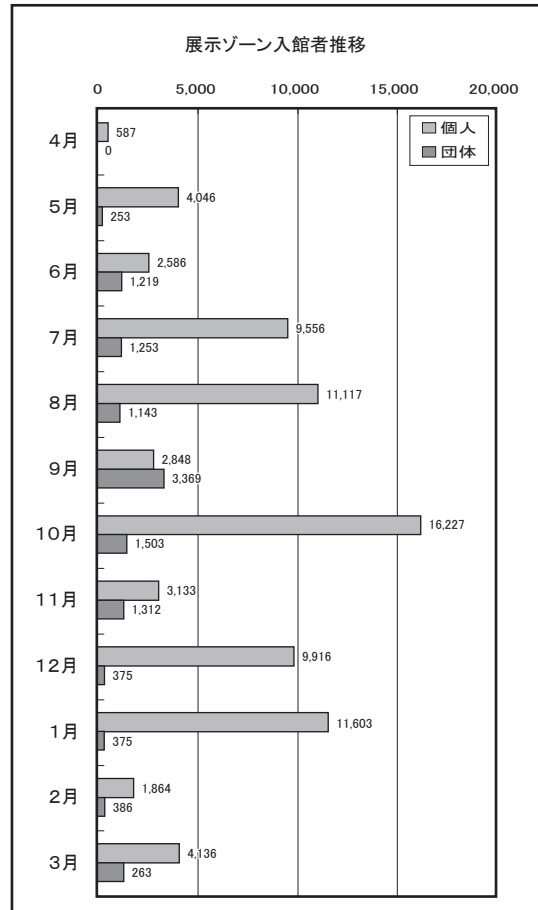
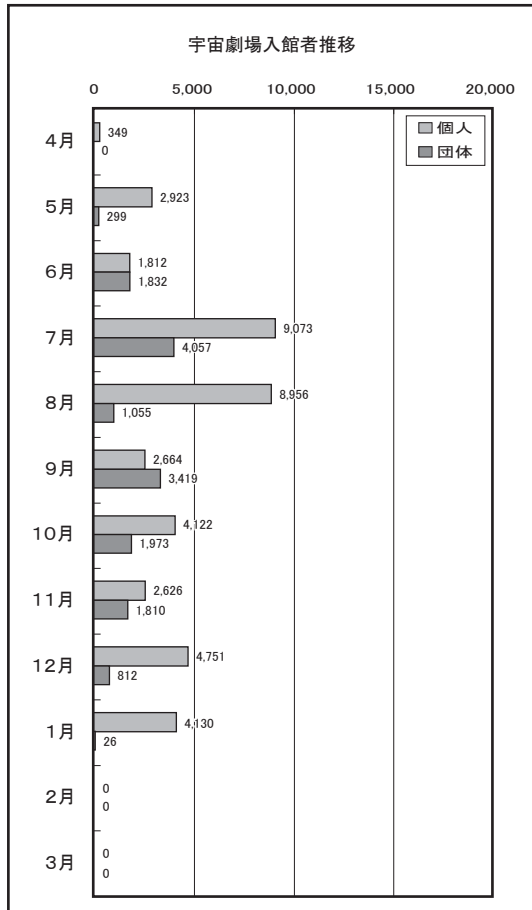
合計

(単位:人)

月	平日					土・日・祝日					合 計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	0	0	0	0	0	2	936	94	0	0	2	936	36	0	0
5月	14	881	63	394	28	13	6,088	468	158	12	27	6,969	258	552	20
6月	18	1,526	85	3,005	167	8	2,872	359	46	6	26	4,398	169	3,051	117
7月	18	7,066	393	4,850	269	11	11,563	1,051	460	42	29	18,629	642	5,310	183
8月	22	13,047	593	1,823	83	8	7,026	878	375	47	30	20,073	669	2,198	73
9月	16	1,281	80	6,594	412	10	4,231	423	194	19	26	5,512	212	6,788	261
10月	15	2,608	174	3,413	228	11	17,741	1,613	63	6	26	20,349	783	3,476	134
11月	16	1,723	108	2,878	180	10	4,036	404	244	24	26	5,759	222	3,122	120
12月	17	5,556	327	807	47	9	9,111	911	380	38	26	14,667	543	1,187	44
1月	12	5,407	451	335	28	10	10,326	1,033	66	7	22	15,733	715	401	18
2月	17	502	30	265	16	8	1,362	170	121	15	25	1,864	75	386	15
3月	18	444	34	118	9	10	3,692	246	145	10	28	4,136	148	263	9
合計	183	40,041	206	24,482	126	110	78,984	637	2,252	18	293	119,025	374	26,734	84







3 宇宙劇場区分別

(単位:人)

観覧者	個人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	14	100	25	176	11	23	349
5月	148	702	214	1,567	82	210	2,923
6月	126	311	111	962	69	233	1,812
7月	757	2,889	332	4,109	370	616	9,073
8月	854	2,788	602	3,888	346	478	8,956
9月	206	496	222	1,303	129	308	2,664
10月	173	437	197	1,068	116	2,131	4,122
11月	204	466	164	1,341	130	321	2,626
12月	350	1,283	546	2,177	145	250	4,751
1月	397	1,335	221	1,862	143	172	4,130
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,229	10,807	2,634	18,453	1,541	4,742	41,406

(単位:人)

観覧者	団体							合計
	幼児	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計	
4月	0	0	0	0	0	-	0	349
5月	49	183	20	47	0	-	299	3,222
6月	747	1,017	0	68	0	-	1,832	3,644
7月	1,195	2,370	83	308	101	-	4,057	13,130
8月	239	565	8	223	20	-	1,055	10,011
9月	29	3,219	0	171	0	-	3,419	6,083
10月	394	1,420	0	159	0	-	1,973	6,095
11月	546	1,046	0	197	21	-	1,810	4,436
12月	377	335	2	98	0	-	812	5,563
1月	0	24	0	2	0	-	26	4,156
2月	0	0	0	0	0	-	0	0
3月	0	0	0	0	0	-	0	0
合計	3,576	10,179	113	1,273	142	-	15,283	56,689

(単位:人)

団体数	幼児	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	2	3	1	0	0	1	7
6月	13	17	0	0	0	1	31
7月	28	28	3	0	1	9	69
8月	4	5	0	3	0	11	23
9月	2	56	0	0	0	3	61
10月	7	21	0	0	0	0	28
11月	11	19	0	1	1	3	35
12月	6	6	0	0	0	6	18
1月	0	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	73	155	4	4	2	35	273

4 展示区分別

(単位:人)

観覧者	個人				計
	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	その他	
4月	232	12	251	92	587
5月	1,414	94	1,694	844	4,046
6月	620	33	830	1,103	2,586
7月	3,481	202	4,285	1,588	9,556
8月	3,607	216	3,822	3,472	11,117
9月	851	61	1,043	893	2,848
10月	1,302	45	4,846	10,034	16,227
11月	705	17	980	1,431	3,133
12月	3,013	93	3,895	2,918	9,919
1月	3,810	121	4,825	2,873	11,629
2月	411	79	778	596	1,864
3月	1,361	120	1,507	1,148	4,136
合計	20,807	1,093	28,756	26,992	77,648

※上記「その他」は個人・団体を問わず、無料である「幼児」「一般(65歳以上)」「障がい者」などの集計です。

(単位:人)

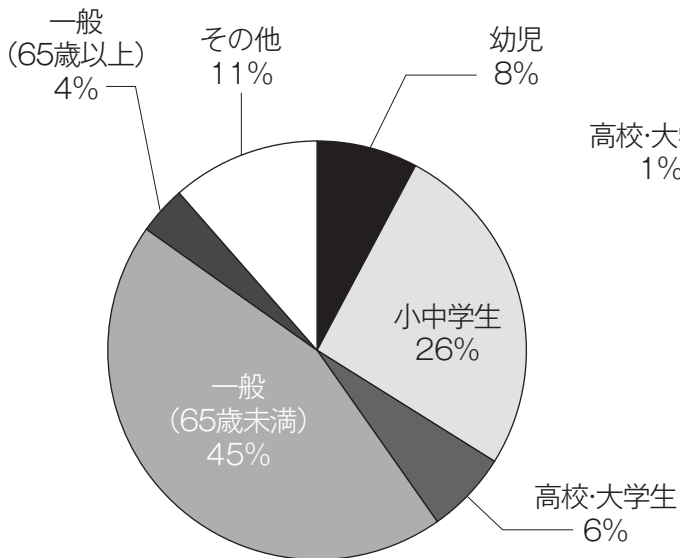
観覧者	団体				合計
	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	計	
4月	0	0	0	0	587
5月	183	20	50	253	4,299
6月	1,191	0	28	1,219	3,805
7月	1,109	2	142	1,253	10,809
8月	946	66	131	1,143	12,260
9月	3,203	0	166	3,369	6,217
10月	1,377	0	126	1,503	17,730
11月	1,117	0	195	1,312	4,445
12月	237	0	135	372	10,291
1月	283	0	66	349	11,978
2月	335	0	51	386	2,250
3月	228	0	35	263	4,399
合計	10,209	88	1,125	11,422	89,070

(単位:人)

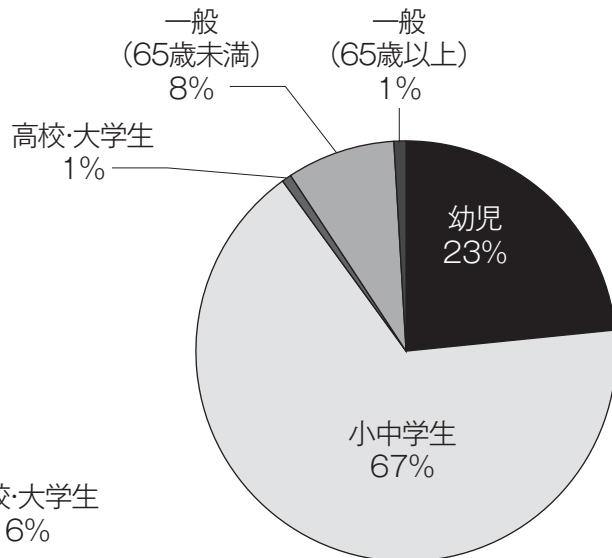
団体数	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	0	0	0	0	0
5月	3	1	0	2	6
6月	20	0	0	1	21
7月	22	0	0	5	27
8月	5	0	2	9	16
9月	58	0	0	2	60
10月	24	0	0	0	24
11月	20	0	0	5	25
12月	6	0	0	5	11
1月	6	0	0	3	9
2月	6	0	0	4	10
3月	1	0	0	3	4
合計	171	1	2	39	213

宇宙劇場区分別入館者状況

個人入館者数分類

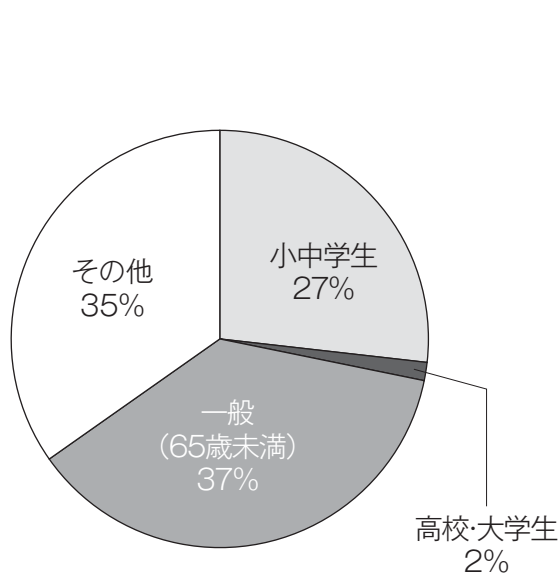


団体入館者数分類

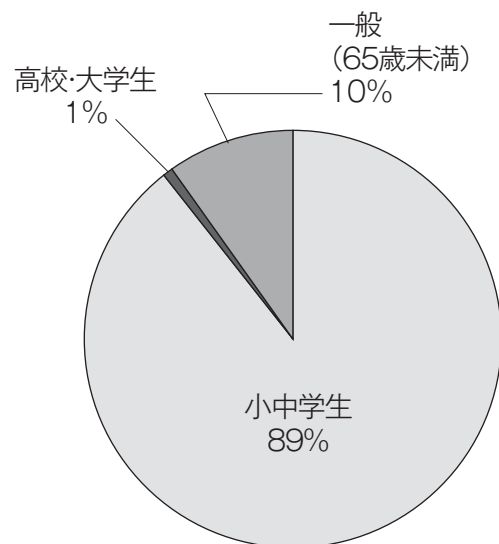


常設展示区分別入館者状況

個人入館者数分類



団体入館者数分類



【施設利用状況の結果分析】

1 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数（平成23年度入館目標人数:144,000人）

○平成23年度：145,759人（前年度：145,898人）

○前年度比：約0.1%減（139人減）

○目標比：約1.2%増（1,759人増）

☆展望ロビー入館者数

○平成23年度：235,383人（平成22年度入館者数：241,634人）

○前年度比：約2.7%減（6,251人減）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：12,147人（前年度：12,158人）

○展望ロビー：19,615人（前年度：20,136人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約61.5%（前年度比：1.8%増 ※前年度：60.4%）

☆有料ゾーン月別前年度比（前年度比）

【△=マイナス（-） 単位=%】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
△88.0%	△24.0%	△45.0%	10.7%	△22.7%	△1.4%	93.5%	26.6%	18.7%	48.5%	△66.5%	199.3%

○増加理由

月	有料ゾーン増加の主な理由
7月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の影響により、学校等団体の来館が、例年の5～6月の利用が7月に移行したため。 「はやぶさがやってきた!～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」開催のため。
10月	<ul style="list-style-type: none"> 「郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント」（「科学の祭典」、「鉄道フェスティバル『きかんしゃトーマスとなかまたち』」など）開催のため。
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の影響により、学校等団体の来館が、例年の9月利用が11月に移行したため。
1月	<ul style="list-style-type: none"> 「ドラえものの科学みらい展」開催及び冬休み特別番組「シーレックス」放映によるため。
3月	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度は震災により休館したが、平成23年度通常どおり開館したため。

○減少理由

月	有料ゾーン減少の主な理由
4月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災により休館したため。
5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の影響により、例年来館していた団体が来館できなくなったため。
8月	<ul style="list-style-type: none"> 市内外の子どものための県外退避及び原発の風評被害による県外からの来館者の減少のため。
9月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の影響により、例年来館していた団体が来館できなくなったため。
2月	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙劇場が改修により休館したため。

2 施設別(宇宙劇場／展示ゾーン)入館者

☆宇宙劇場入館者数(平成22年度入館者数：72,704人)

○平成23年度：56,689人 ○前年度比：約22.0%減

☆展示ゾーン入館者数(平成22年度入館者数：73,194人)

○平成23年度：89,070人 ○前年度比：約21.7%増

当館の「震災による休館」や「宇宙劇場のシステム改修による休館」により入館者は減少の傾向にありましたが、「鉄道フェスティバル『きかんしゃトーマスとなかまたち』」や「ドラえものの科学みらい展」などのイベント開催により、平成22年度とほぼ同じ結果となりました。

3 来館形態別(個人/団体)入館者

☆個人利用者数(平成22年度個人利用者数：116,853人)

○平成23年度：119,054人 ○前年度比：約1.9%増

☆団体利用者数(平成22年度入館者数：29,045人)

○平成23年度：26,705人 ○前年度比：約8.1%減

☆来館形態比

○個人：約81.7%(平成22年度：約80.1%) ○団体：約18.3%(平成22年度：約19.9%)

☆利用傾向(平日/土・日・祝)

○平日：約44.3%(平成22年度：約48.8%) ○土・日・祝：約55.7%(平成22年度：約51.2%)

平成23年度は「原発事故」の放射能の影響により、市(県)外からの団体利用(学校等)者が大幅に減り、全体のうち平日の利用者の割合が下がる結果となりました。

しかしながら、個人利用は屋外での活動が大きく制限されたことから、当館が室内であるため、前年度より増加する結果となった。

4 区分別(幼児/小・中学生/高校・大学生/一般)入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数(割合 ※総数：56,689人)

○幼児：6,805人(約12.0%) ○小・中学生：20,986人(約37.0%)

内訳＝個人:3,229人 団体:3,576人 内訳＝個人:10,807人 団体:10,179人

○高校・大学生：2,747人(約4.8%) ○一般(65歳未満)：19,726人(約34.8%)

内訳＝個人:2,634人 団体:113人 内訳＝個人:18,453人 団体:1,273人

○一般(65歳以上)：1,683人(約3.0%) ○その他(障がい者など)：4,742人(約8.4%)

内訳＝個人:1,541人 団体:142人 内訳＝個人:4,742人 団体:0人

☆展示ゾーン区分別入館者数(割合 ※総数：89,070人)

○小・中学生：31,016人(約34.8%) ○高校・大学生：1,181人(約1.3%)

内訳＝個人:20,807人 団体:10,209人 内訳＝個人:1,093人 団体:88人

○一般(65歳未満)：29,881人(約33.5%) ○その他(幼児、障がい者など)：26,992人(約30.3%)

内訳＝個人:28,756人 団体:1,125人 内訳＝個人:26,992人 団体:0人

有料ゾーン(宇宙劇場、展示ゾーン)の入館者を年代別に見た場合、例年どおり、個人利用では両施設とも「一般(65歳未満)」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となった。

しかし、両施設の個人と団体を含めた全体では、「小中学生」が最も多く約35.7%、次いで「一般(65歳未満)」約34.0%と、例年どおり小中学生が2.0%程度多い結果となった。

5 総括

平成23年度における当館の利用状況は前記1～4のとおりであるが、全体的に「東日本大震災」の影響が色濃く出た結果となった。

特に4月～6月にかけて、学校等の団体利用が7月以降に変更となったことはもとより、市外からの団体(特に県外)の利用が前年度に比べ著しく落ち込んでしまった。

しかしながら、4月の1か月間ほぼ休館したのにもかかわらず、平成23年度は当館が開館10周年を迎える記念すべき年であることから、「はやぶさがやってきた!～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」や「ドラえもんの科学みらい展」などの多種多様なイベントを企画・実施したことにより、個人のお客様が数多くご来館いただいたことができました。

平成24年度は、震災による影響がうすれ当館の真の実力(企画力など)が表れる年になります。

投影システムが新しく生まれかわる宇宙劇場の「番組」、展示ゾーンの「様々なイベント」など市民の皆さまに喜んでいただけるよう、一層努力し運営してまいりますのでご期待ください。

Ⅵ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成13年3月23日

郡山市条例第33号

(設置)

第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条第1項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目11番1号

(管理)

第3条 科学館は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

(事業)

第4条 科学館は、次の事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第5条 科学館の開館時間は、午前10時から午後5時45分(入館は、午後5時)までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前10時から午後8時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第6条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、教育委員会が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。)
- (2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 教育委員会(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者損害賠償)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 教育委員会は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 教育委員会は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書(以下「事業計画書」という。)等を添付して教育委員会に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する

団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)、民事再生法(平成11年法律第225号)等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
 - (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
 - (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
 - (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
 - (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
 - (6) その他教育委員会が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準
- 2 教育委員会は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 教育委員会は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について教育委員会と協定を締結しなければならない。

(事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

(利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、

第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

(指定等の公告)

第20条 教育委員会は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があったとき。

(開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

(事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

- 2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、教育委員会にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第23条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第24条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、教育委員会に引き渡さなければならない。ただし、教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第25条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会が相当の理由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第26条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
(平成13年6月1日教委規則第11号で平成13年10月1日から施行)
(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)
- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略

附 則 (平成15年郡山市条例第26号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年郡山市条例第68号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の第10条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第16条第1項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

*別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成13年6月1日

郡山市教育委員会規則第12号

(趣旨)

第1条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例(平成13年郡山市条例第33号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。条例第16条第1項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にある場合は、指定管理者)は、条例第7条第1項の規定により観覧料観覧料(指定管理者の指定の期間中にある場合は、条例第19条第1項に規定する利用料金)を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券(第1号様式)を交付する。

(観覧料の免除)

第3条 条例第8条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第8条第1号に規定する場合 当該観覧料の全額
 - (2) 条例第8条第2号に規定する場合 教育委員会が認める額
- 2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第4条 条例第9条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第9条第1号に規定する場合 当該観覧料等の全額
 - (2) 条例第9条第2号に規定する場合 教育委員会が認める額
- 2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書(第3号様式)を、教育委員会に提出しなければならない。

(遵守事項)

第5条 郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第6条 条例第13条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期間
- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他教育委員会が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例(昭和40年郡山市条例第2号)第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

(申請書等)

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書(第4号様式)に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあつては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあつては、役員の名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他教育委員会が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。

ア 破産者で復権を得ないもの

イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日(以下「公告等の日」という。)において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの

ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員

(1) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体(市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出ている法人を除く。)でないこと。

(2) 教育委員会が必要と認める資格を有する者を配置できること。

(選定通知)

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書(第5号様式)によるものとする。

(指定通知)

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書(第6号様式)により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

(1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項

(2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項

(3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項

(4) 事業報告に関する事項

(5) 利用料金に関する事項

(6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項

(7) その他教育委員会が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

(1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更

(2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更

(3) その他教育委員会が軽微であると認める事項

(委任)

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則 (平成15年教委規則第11号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年教委規則第9号)

この規則は、公布の日から施行する。

* 各種様式省略

2 利用案内

<普通観覧料>

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400円	400円
高校生・大学生等	300円	300円
小中学生	200円	200円
幼児・65歳以上	無料	100円

※宇宙劇場の幼児・・・座席を使用しない場合は無料
※団体割引・・・20名以上の団体は20%OFF

<定期観覧料(ワンイヤーパスポート)>

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が1年間観覧する場合)
一 般	4,000円
高校生・大学生等	3,000円
小中学生	2,000円

<宇宙劇場番組開始時刻>

投映回数	平 日	土曜・日曜・祝日
1回目	10:15	11:00
2回目	11:30	12:30
3回目	14:00	14:00
4回目	15:30	15:30
5回目		17:00
6回目	19:00 ※金曜日のみ (祝日を除く)	

※番組開始時間は変更になる場合があります。

<開館時間>

常設展示・・・10：00～17：45（入場は17：00まで）

宇宙劇場・・・10：00～17：45（入場は17：00まで）

※金曜日は10：00～19：45（入場は19：00まで）

<休館日>

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28～1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

<展望ロビー>

10：00～20：00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称S. P. Vという）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
 - (2) 本会及び科学館主催事業の支援
 - (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
 - (4) その他必要な活動
- 2 活動は科学館と協議の上、実施する。
- 3 活動項目は、随時拡充していくものとする。
- 4 活動内容により、次の活動グループを置く。
- (1) 案内サービスボランティア
 - (2) 鉄道ジオラマボランティア
 - (3) 科学ボランティア
 - (4) 天文ボランティア

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

- 2 会員に会長名で登録証を発行する。
- 3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
 - (2) 副 会 長 3名
 - (3) 運営委員 13名以内
- 2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。
- 3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。
- 5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。
- (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
- (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

この会則は、平成16年2月15日から施行する。

この会則は、平成17年3月13日から施行する。

この会則は、平成18年3月5日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

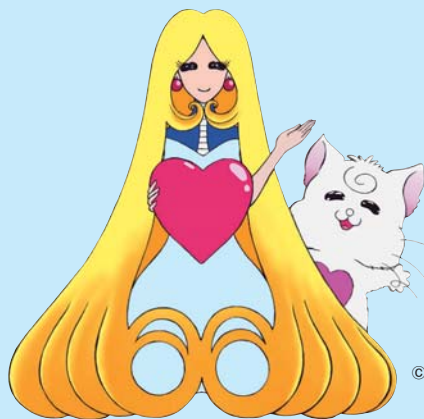
〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20~24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

ホームページ <http://www.space-park.jp>

(携帯電話からもアクセスできます)

e-mail info@space-park.jp



エンゼルナ & ミーニャン



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。